

令和 7 年度事業報告書

社会福祉法人小田原市社会福祉協議会

目 次

●	令和7年度事業概要	1
1	法人運営関係会議	2
2	地区社会福祉協議会関係会議	7
3	専門委員会等運営会議	8
4	研修・研究事業	9
5	広報・啓発活動	11
6	会員会費及び寄付金	11
7	地区社会福祉協議会の育成・援助	12
8	各種支援事業	19
	高齢者対策事業	19
	児童対策事業	25
	障がい者対策事業	25
9	ボランティアセンター活動	26
10	在宅福祉推進事業	33
11	総合相談体制	36
12	地域福祉相談支援事業	39
13	資金貸付事業	40
14	日常生活自立支援事業	42
15	法人後見事業	44
16	成年後見制度中核機関運営業務	44
17	共同募金運動	47
18	各種関係団体事業への協力	48
19	法外援護等事業	48
20	苦情解決の取り組み	48
21	介護サービスセンター事業	49
22	その他	58
23	法人の運営状況	60

令和7年度事業概要

令和7年度は、少子高齢化の進行や地域社会の担い手不足が一層顕在化する中、地域福祉を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にある傾向がみられました。加えて、物価上昇や生活様式の変化により、住民の生活課題は複雑化・多様化しており、これまで以上にきめ細かな支援と柔軟な対応が求められる一年となりました。

このような状況のもと、本会においては、第4期小田原市地域福祉活動計画および基本理念である「すべての人が安心して暮らせるまちづくり」に基づき、地域に根差した福祉活動の推進に努めてまいりました。特に、地域福祉相談支援体制の強化、住民主体の支え合い活動の推進、多機関協働による包括的支援体制の構築など重点的に取り組みました。

また、組織運営においては、職員の役割整理やスーパービジョン体制の充実を図り、組織全体の機能強化と人材育成に取り組んできました。これにより各事業の着実な実施とともに、より質の高いサービス提供につなげることができました。

一方で、地域ニーズの増大に対する人的資源の確保や、継続的な担い手の育成など、依然として課題も残されています。これらの課題に対しては、関係機関・団体との連携を一層強化しながら、持続可能な地域福祉の推進に向けて取り組んでいく必要があります。

今後も、本協議会の役割を十分に認識し、地域住民および関係機関との協働のもと、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向けて、引き続き各種事業を推進してまいります。

以下、本協議会が令和7年度に取り組んだ各種事業や活動概要について報告いたします。

<第4期地域福祉活動計画>

本計画を推進するための、4つの基本目標と9つの行動計画

基本理念「すべての人が安心して暮らせるまちづくり」	
ー地域づくりは みんなが参加ー	
基本目標1 ～つながり、包み込む地域社会づくりを目指して～ 「重層的支援・権利擁護の推進」	(1) 多機関協働による包括的な支援体制の推進 (2) 権利擁護関係事業の充実
基本目標2 ～ともに支え合う地域社会づくりを目指して～ 「地域福祉の総合力の向上」	(3) 地区社会福祉協議会活動の充実 (4) 持続可能な活動のための担い手・財源創出 (5) 福祉施設・団体などとの連携促進
基本目標3 ～安心して、心身ともに豊かに暮らせる地域社会づくりを目指して～ 「相互理解と社会参加の推進」	(6) 社会参加しやすい環境づくりの推進 (7) 介護予防・健康づくりの推進 (8) 広報活動の充実
基本目標4 ～災害を軽減する地域社会づくりを目指して～ 「大規模災害への対応」	(9) 災害時の地域支援体制の整備

1 【法人運営関係会議】

令和7年度における事業成果

社会福祉法に基づき理事会及び評議員会を定期的に開催し、前年度決算関係および次年度予算関係、各種事業執行の意思決定等が滞りなく行われ、円滑な法人運営事務が執行できました。

また、会長、副会長及び常務理事による役員幹部会を開催し、理事会及び評議員会に提案する案件のほか、法人運営に係る情報交換を行うなど、連携を図りながら進めることができました。監事会では、適正な事業の進行管理、予算執行や財務管理・会計処理について監査を受け、助言等を日常業務に反映させ、事業の効果的な展開を図ることに結びつけることができました。

事業名等	期日	出席者数	内容等
役員幹部会	① 4月21日	理事 5名	(1) 職員の退職事案について (2) 事務所機能の拡充について (3) マックスバリュ東海の移動スーパー事業への協力要請について
	② 12月18日	理事 5名	(1) 役員幹部会について (2) ケアタウンの実現に向けた取組みの方向性について
	③ 2月26日	理事 5名	(1) 令和8年度事業計画および収支予算案について (2) 法人設立50周年記念事業について (3) 第5期小田原市地域福祉活動計画の策定について (4) 市受託事業「地域福祉活動支援業務」について
理事会	① 5月26日	理事 14名 監事 2名	<報告事項> 報告第1号 地域福祉活動計画の見直し及び目標設定について 報告第2号 会長及び常務理事の職務の執行状況について <決議事項> 議案第1号 令和6年度事業報告の承認について 議案第2号 令和6年度計算関係書類及びその付属明細書並びに財産目録の承認について 議案第3号 令和7年度資金収支補正予算について 議案第4号 評議員候補者の推薦について 議案第5号 理事候補者について 議案第6号 監事候補者について 議案第7号 評議員選任・解任委員会の招集について 議案第8号 定時評議員会の招集について
	② 6月13日	理事 14名 監事 2名	<決議事項> 議案第1号 会長の選任について 議案第2号 副会長の選任について 議案第3号 常務理事の選任について 議案第4号 顧問の選任について 議案第5号 評議員選任・解任委員会委員の選任について 議案第6号 ボランティアセンター運営委員会委員の選任について 議案第7号 資金の運用について 議案第8号 物品賃貸借契約の締結について

理事会	③12月10日	理事 12 名 監事 2 名	<報告事項> 報告第1号 各種委員会の開催状況について 報告第2号 令和8年社協新春のつどいについて 報告第3号 資金の運用報告について 報告第4号 会長及び常務理事の職務の執行状況について <決議事項> 議案第1号 令和7年度資金収支補正予算について 議案第2号 給与規程の改正について 議案第3号 令和8年度予算の編成方針について 議案第4号 社会福祉功労者等の顕彰について 議案第5号 令和7年度年末たすけあい義援金の配分について 議案第6号 令和8年度年末たすけあい義援金の配分方針について 議案第7号 評議員候補者の推薦について 議案第8号 理事候補者について 議案第9号 評議員選任・解任委員会の招集について 議案第10号 評議員会の招集について
	④12月18日	理事 15 名 監事 1 名	議案第1号 副会長の選任について 議案第2号 ボランティアセンター運営委員会委員の選任について
	⑤ 3月5日	理事 12 名 監事 2 名	<報告事項> 報告第1号 第4期小田原市地域福祉活動計画に基づく令和7年度事務事業（活動）の取組状況について 報告第2号 会長及び常務理事の職務の執行状況について <決議事項> 議案第1号 令和8年度事業計画について 議案第2号 令和8年度資金収支予算について 議案第3号 服務規程の改正について 議案第4号 給与規程の改正について 議案第5号 経理規程の改正について 議案第6号 令和8年度役員等賠償責任保険契約について 議案第7号 評議員会の招集について
評議員会	① 6月13日	評議員28 名 理事 2 名 監事 2 名	<決議事項> 議案第1号 令和6年度事業報告の承認について 議案第2号 令和6年度計算関係書類及び財産目録の承認について 議案第3号 令和7年度資金収支補正予算について 議案第4号 理事16名の選任について 議案第5号 監事2名の選任について
	②12月18日	評議員33 名 理事 2 名 監事 1 名	<報告事項> 報告第1号 令和8年度予算の編成方針について 報告第2号 令和7年度年末たすけあい義援金の配分について 報告第3号 令和8年社協新春のつどいについて <決議事項> 議案第1号 令和7年度資金収支補正予算について 議案第2号 理事の選任について

評議員会	③ 3月23日	評議員32名 理事 2名 監事 1名	<決議事項> 議案第1号 令和8年度事業計画について 議案第2号 令和8年度資金収支予算について
評議員選任 ・解任委員会	6月3日	委員 5名 理事 2名	<決議事項> 議案第1号 評議員37名の選任について
	12月18日	委員 5名 理事 2名	<決議事項> 議案第1号 評議員3名の選任について
監事会	5月9日	監事 2名	令和6年度 決算監査 【指摘・改善事項】 1 会計処理、財産管理等について 会計書類、帳票類については、不正な点等はなく、正確に処理されていた。 2 法人運営について 令和6年度の貸借対照表上の純資産は、前年度と比較すると900万円程の減、前年度は1千400万円程の減、前々年度は1千200万円程の減となり、前年の監事会において、事業体制を見直すことが求められることを申し上げた。 依然、厳しい状況ではあるものの、収入である市補助金や受託料は増加しており、一方で人件費支出のほか諸物価高騰による支出が見込まれたが、収入増に対し支出は抑制されたことは評価できる。こうしたことでは、社協業務が増加している中で、携わる職員の努力があったものと理解し感謝申し上げる。 また、税理士の立場から成年後見制度に関し、利用者の税務処理に当たることもある中で、社協が法人後見に取り組む意義について知る機会もあり、是非とも地域住民に対し宣伝・啓発に努め、更なる活躍を期待したい。 3 事業全般について 社協の業務は増加傾向にあり、職員も増えた中、事務局内部での職員間における連携・情報共有はとても重要と言える。 そうしたことは、リーダー定例会や地区担当打合せ、職員サロンなどの取り組みは、職員の関係性

監事会	5月9日	監事 2名	を高めるうえで評価できる。 ここで協力医が選任されたことを踏まえ「こころの健康」にも配慮しながら、更に充実した組織体制を目指していただきたい。 4 個別の事業について (1) 地区社協補助金の見直しについては、令和8年度の改定に向けて準備を進めているとのことであるが、多種多様な事業に取り組んでいる中で、住民にとって分かりやすい事業となるように、この機会に整理に努めていただきたい。 更に、市受託事業については、各事業が本来果たすべき事業として役割を果たしているのか、社協の各事業ともすり合わせし整理が必要と言える。 地域への負担感が強いイメージが持たれないよう十分に委託元とも意志疎通を図ることを求める。 (2) 介護サービスセンター居宅介護支援事業の廃止により、今後黒字化が見込まれるものと理解しているが、訪問介護事業に注力していく上では、持続化に向けて介護人材（ヘルパー）の確保に努めていただきたい。
-----	------	-------	--

監事会	5月9日	監事 2名	【対応】 ＜経理・財務管理＞ 会計書類・帳票類については、適正に処理されているとの評価をいただきました。引き続き、法令遵守と内部統制の強化に努め、より透明性の高い会計管理を徹底しました。 純資産の減少については、前年度に続き厳しい財政状況が続いていることを重く受け止めています。 一方で、市補助金や受託料の増加に対し、支出の抑制に努めた点を評価いただきました。事業体制の見直し、人件費を含む経費の適正化、収益確保のための事業改善を視点に、財政基盤の安定化を図れるよう努めました。 また、法人後見の意義についてご理解をいただいたことを踏まえ、地域住民への周知・啓発を強化し、制度の適切な利用促進に努めました。 ＜事業全般＞ 業務量の増加に伴い、職員間の連携・情報共有の重要性は、一層高まっていると認識しています。 リーダー定例会、地区担当打合せ、職員サロン等の取組みは、継続しつつさらに改善を図れるよう努めました。 また、協力医の選任を踏まえ、職員の「こころの健康」への配慮、メンタルヘルス相談体制の整備、働きやすい職場環境づくりに取り組み、より充実した組織体制の構築を目指しました。 地区社協補助金の見直しについては、多様化する地域活動を住民にとって分かりやすく伝えられるよう、補助金の目的・使途・成果の整理に努め、令和8年度の改定に向け準備を進めました。 居宅介護支援事業の廃止により、収支改善が見込まれるとともに、訪問介護事業に注力し、持続可能な運営を図れるよう、介護人材の確保、働き続けやすい環境整備、研修体制の充実に努めました。
-----	------	-------	---

2【地区社会福祉協議会関係会議】

令和7年度における事業成果

従来の報告、周知及び依頼事項の他、令和8年度の地区社協補助金見直しに向け具体的な協議を行いました。また、より効果的に協議を進めるため、新たにブロック別地区社協会長会議を開催し必要な意見交換を行いました。

事業名等	期 日	出席者数	内 容 等
地区社会福祉協議会 連絡協議会 正副会長会議	①5月12日	正副3名	＜議題等＞ (1) 地区社協会長会議の案件について
	②11月20日	正副3名	＜議題等＞ (1) 地区社協会長会議の案件について
	③2月16日	正副3名	＜議題等＞ (1) 地区社協会長会議の案件について
地区社会福祉協議会 会長会議	① 5月16日	会長24名	＜議題等＞ (1) 地区社会福祉協議会連絡協議会正副会長の互選について (2) 任期満了に伴う市社協理事候補者2名の推薦について (3) 任期満了に伴う市社協評議員候補者24名の推薦について (4) 小田原市社会福祉協議会の概要について (5) 令和7年度地区社協関係事業について (6) 生活応援隊実施団体へのアンケート結果報告と情報交換会の開催について (7) 地区社協補助金の見直しについて (8) ブロック別地区社協会長会議の開催について (9) 地区社協ブロック別連絡会の運営費について (10) 地域福祉コーディネーター養成研修会の開催について (11) 令和7年度共同募金街頭募金の実施における協力について (12) 令和7年度共同募金運動用資材数の確認について (13) 民間事業者による買い物支援の取り組み等について (14) 市社協役員等就任手続きについて
	②11月20日	会長24名	＜議題等＞ (1) 交通遺児援護事業の周知について (2) いきいき健康事業の実施状況について (3) 社協さんちの井戸端会議の開催について (4) 地区社協補助金の見直しについて (5) 令和7年度社協会費の納入状況について (6) 令和7年度共同募金運動における街頭募金の結果について (7) 地域福祉コーディネーター養成研修会開催報告について (8) 第1回きずなチーム代表者連絡会の開催結果について (9) ケアタウン推進に係る連携協定の締結および移動スーパー事業について

地区社会福祉協議会 会長会議	③ 2月16日	会長 26名 副会長 13名	<議題等> (1) 令和7年度地区社協育成費補助金実績報告書の提出について (2) 令和8年度社協会費の募集依頼及び必要資材数等について (3) 令和8年度地区社協関係事業の予定について (4) 令和8年度地区社協育成費補助金の交付予定額と申請・報告様式について (5) ふれあいサロン活動の保険加入の意向確認と活動状況の報告について (6) 令和8年度年末たすけあい義援金（家族介護者支援事業）の配分申請について (7) きずなチーム代表者の変更報告書の提出について (8) 令和7年度きずなチーム研修会の開催結果について (9) 社協さんちの井戸端会議について
ブロック別地区 社協会長会議	①7月22日 ②7月26日 ③8月5日	① 7名 ②10名 ③11名	<議題等> (1) 地区社協育成費補助金の見直しについて ア 補助金等一覧及び補助金（事業）の内容 イ 令和8年度交付予定額（案）一覧 ウ 地区社協収支予算書（例） エ 地区社協会則及び細則（例） (2) 情報交換

3【専門委員会等運営会議】

令和7年度における事業成果

各種委員会については、計画に沿った開催をし、ボランティアグループ等活動助成金の配分、交通遺児世帯への支度金・激励金等の支給及び社協おだわらの発行について適正に遂行することができました。

介護サービスセンター運営会議においては、各実施事業の状況と課題を報告し、本事業所が本市の介護サービス提供体制を継続して支えていけるように、介護労働力が不足する中での経営安定化に向けた研究と、訪問介護員の人材発掘・確保に向け、今後の方針等を共有しました。

事業名等	期日	出席者数	内容等
ボランティアセンター 運営委員会	9月11日	委員7名	<議題等> (1) ボランティアセンター運営委員会委員長の互選について (2) ボランティアセンター運営委員会委員長代理の氏名について (3) ボランティアセンター事業概要について (4) 令和6・7年度ボランティアセンター寄託金品の状況について (5) 令和7年度ボランティアグループ等活動団体助成金の配分について
交通遺児援護基金 運営委員会			<議題等> (1) 令和6年度交通遺児援護基金事業の結果について (2) 令和7年度支度金・激励金等の支給について (3) 令和7年度交通遺児援護事業の周知について (4) 交通遺児援護基金制度の効果的な運用について
広報担当者連絡会	4月24日	23名	(1) ブロック代表者の互選について (2) 市社協広報「社協おだわら」のアンケートについて
広報編集委員会	① 4月24日	委員6名	<議題等> (1) 令和7年度社協おだわらの発行計画について (2) 社協おだわら第145号について

広報編集委員会	② 6月18日	委員5名	<議題等> (1) 社協おだわら第145号について (2) 社協おだわら第146号の内容について
	③ 7月22日	委員5名	<議題等> (1) 社協おだわら第146号について (2) 広報担当者連絡会における研修会の開催案について
	④ 9月17日	委員6名	<議題等> (1) 社協おだわら第146号について (2) 社協おだわら第147号の内容について
	⑤ 10月20日	委員5名	<議題等> (1) 社協おだわら第147号について
	⑥ 12月15日	委員5名	<議題等> (1) 社協おだわら第147号について (2) 社協おだわら第148号の内容について
	⑦ 1月21日	委員6名	<議題等> (1) 社協おだわら第148号について
	⑧ 3月10日	委員6名	<議題等> (1) 社協おだわら第148号について (2) 社協おだわら第149号の内容について
介護サービスセンター運営会議	12月10日	委員12名	<議題等> (1) 令和7年度上半期の運営状況について

4【研修・研究事業】

令和7年度における事業成果

第4期地域福祉活動計画は4年目を迎え、事務事業の取組状況の評価方法を一部見直し、最終年に向けた整理に努めました。

また、職員育成に関する基本方針に基づき、業務に係るフォローアップ体制や効果的な職員育成体系の実行に努めたほか、リーダー定例会の開催、職員会議では、組織・事業の課題や方向性について情報を提供する機会とし、職員相互が共通理解のもと、業務が進めることができるよう努めました。

事業名等	期 日	内 容 等
第4期地域福祉活動計画の推進・管理	4月1日 ～ 3月31日	プロジェクトメンバーが主軸となり、事務事業の執行状況や活動の進捗状況を把握し、全職員の共通認識のもと計画の効率的な推進を図りました。
ソーシャルワーク実習生受入	8月6日 ～ 9月19日	神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 社会福祉学科3年 1名 上智大学 総合人間科学部 社会福祉学科3年 1名
	8月8日 8月12日	神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 社会福祉学科3年 1名 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校社会福祉専攻科3年 1名 ※小田原市福祉事務所実習の外部機関実習に協力
リーダー定例会	4月1日 ～ 3月31日	組織の運営状況や課題等の共有及び課題の解決に向けた協議 (12回開催)

地区担当者打合せ	4月1日 ～ 3月31日	26 地区の担当で地域福祉活動に関する情報共有と課題解決に向けた事例検討を実施（12回開催）
広報作業部会	4月1日 ～ 3月31日	広報紙社協おだわら発行に関する協議
SNSプロジェクト	4月1日 ～ 3月31日	SNSによる広報活動推進のための協議 （10回開催）
職員会議	①4月4日	<議題等> (1) 令和6年度事業報告・決算書の作成について (2) 組織改編及び人事異動について (3) 地域福祉活動計画の推進について (4) 令和7年度ソーシャルワーク実習の受入れについて (5) 職員の服務等に係る留意事項について (6) ハラスメントアンケート結果について
	②9月4日	<議題等> (1) 令和8年度予算編成事務について (2) 街頭募金の実施について (3) 規程等の改正について (4) 健康経営取組方針について (5) 防災訓練の実施について (6) 職員PC入替作業について
職員研修	①12月11日	小田原市社会福祉協議会職員研修会 「カスタマーハラスメントの理解と対応」 かながわ介護社労士事務所 代表 古江 一輝氏
	②3月13日	西湘地区社会福祉協議会連絡会職員研修会 「災害時に向けた福祉支援体制づくり～被災者支援活動など～」 中野法律事務所 弁護士 社会福祉士 中野 智一朗 氏
職員サロン	4月1日 ～ 3月31日	日頃の業務で生じる疑問や悩みなどに関して、職員間で共有をし、疑問や悩みをそのままにせず、解消する機会、話をする事で気持ちを軽くすること、職員同士のより良いコミュニケーションの醸成を図ることを目的として開催。（月1回開催）
社協ラボ ～Meets～	①9月24日 ②11月28日 ③1月28日 ④3月18日	職員の地域福祉等に関するスキルの共有やスキルアップ、また、職員のコミュニケーション・モチベーションの向上を目的として開催
職員安全運転講習会	①4月4日	道路交通法改正や安全運転に関する注意事項、車両管理に関する注意事項、交通ルールクイズにチャレンジ

7【地区社会福祉協議会の育成・援助】

令和7年度における事業成果

地区社協等の活動が活発になってきており、地区担当職員による支援や関与（会議出席・活動参加・連絡調整）の割合が、前年度に比べて約1.4倍となりました。

重点事業に位置付ける3つの事業に補助金を交付するとともに、地区担当職員による支援を継続して行いました。特に、サロン活動については、新たに3つの地区で3つのサロン活動が開始されました。

事業名等	期 日	内 容 等																						
地区社協等の支援	4 月 1 日 ～ 3 月 31 日	地域支援に関わる 15 名の地区担当職員が、各地区の会議や活動に参加し、必要な支援を行いました。また、地区社協運営や地域活動に関わる連絡調整を行いました。																						
		分類	内容・対象	ブロック						合計														
				A	B	C	D	E	F															
		会議	地区社協関連会議	18	24	38	27	60	39	206														
			地区民児協関連	30	16	17	6	35	29	133														
			まちづくり委員会関連	5	10	13	8	26	20	82														
			その他	17	18	33	23	70	27	188														
		活動	地区社協関連【一般】	16	24	15	32	49	22	158														
			地区社協関連【重点】	51	39	35	74	77	91	367														
			その他	28	5	37	13	43	90	216														
		連絡調整	地区社協関連	513	624	990	340	1,611	1,507	5,585														
その他	101		144	206	105	206	352	1,114																
総計 8,049																								
活動費助成	4 月 1 日 ～ 3 月 31 日	(1) 地区社協活動財源交付金 (社協会費納入実績額の一般会費分：45%、特別及び賛助会費分：50%)																						
		(2) 地域安心見守り事業費																						
		(3) 地区情報紙作成・世代間交流事業援助費																						
		(4) 地域活動参加促進経費																						
		(5) 地域福祉コーディネーター会・生活応援隊・サロン活動補助																						
		(6) 共同募金協力事務費（赤い羽根共同募金実績額の 9 %）																						
		(7) 家族介護者支援事業費																						
		(8) ブロック別連絡会運営費 (地区社協：2ブロック、地区ボランティア：2ブロック)																						
		(9) 各地区社協事業、会議、いきいき健康事業等に職員を随時派遣																						
		(10) いきいき健康事業の開催 (19 地区で 86 回開催・延べ参加人数 2,442 名)																						
		<table><tr><td>取組内容</td><td>回数</td><td>取組内容</td><td>回数</td></tr><tr><td>健康講話</td><td>6</td><td>食生活講話</td><td>0</td></tr><tr><td>体操教室</td><td>13</td><td>転倒予防教室</td><td>32</td></tr><tr><td>認知症予防教室</td><td>5</td><td>口腔ケア講話</td><td>4</td></tr></table>									取組内容	回数	取組内容	回数	健康講話	6	食生活講話	0	体操教室	13	転倒予防教室	32	認知症予防教室	5
取組内容	回数	取組内容	回数																					
健康講話	6	食生活講話	0																					
体操教室	13	転倒予防教室	32																					
認知症予防教室	5	口腔ケア講話	4																					

活動費助成	4月1日 ～ 3月31日	取組内容	回数	取組内容	回数
		消費生活講座	1	ウォーキング	3
		ポッチャ	8	スクエアステップ	0
		マッス	1	その他	21
		取組内容合計 =94 件			
サロン活動の推進	4月1日 ～ 3月31日	<運営費補助金交付サロン（20地区57サロン）>			
		地区名	サロン名	主な会場	参加対象
		新 玉	新宿フラダンス会	新宿公民館	高齢者
		万 年	サロンしおざる	17区または18区公民館	誰でも
			お楽しみ会	18区公民館	誰でも
		幸	26区お茶飲み会	26区会議所	誰でも
		山王網一色	お楽しみ会	かもめの家他	高齢者
		十 字	十字ふれあいサロン	十字公民館	誰でも
		大 窪	大窪貯筋教室（第一教室）	市消防署南分署	高齢者
			大窪貯筋教室（第二教室）	市消防署南分署	高齢者
			大窪貯筋教室（第三教室）	市消防署南分署	高齢者
		早 川	あゆっこルーム	早川保育園	親 子
			はやか輪くわくサロン「おちゃのま」	早川小学校・早川公民館	高齢者
			脳トレレインボー会	早川公民館	高齢者
			地域子育てひろば「ほっかばか会」PART1	早川公民館・根岸川公民館	児童・親子
			早川グランドゴルフを楽しむ会	早川河原公園	高齢者
		足 柄	高齢者サロン	33区公民館	高齢者
			カラオケを楽しむ会	33区公民館	誰でも
			足柄第二友愛チーム	今井公民館	高齢者
			一歩の会・ほっとサロン	セントラルハイム鎌倉	誰でも
			中島さんちのわいわいサロン	中島公民館	誰でも
			いきいきクラブ	町田小学校	誰でも
			布遊びの会	33区公民館	高齢者
		芦 子	ふれあい教室谷津「聞」楽会	谷津公民館	誰でも
		富 水	ウォーキングサロンいずみ	市内外各所	高齢者
			ふれあいサロン 小台遊友の会	日枝神社社務所	高齢者
			お茶会「緑の会」	地区内カフェ	高齢者
			すぎな会（歌の会）	日枝神社社務所	高齢者
		桜 井	学校前サロン	桜井プラザ	高齢者
			西之庭ひだまりの会	曾比公民館	高齢者

サロン活動の推進	4 月 1 日 ～ 3 月 31 日	＜立ち上げ経費補助金交付サロン（3 地区・3 サロン）＞			
		地区名	サロン名	主な会場	参加対象
		片 浦	Cafe「ほのぼの」	根府川公民館	誰でも
		久 野	ふれあい久野 どんぐりの会 ふれあい活動	久野区民会館	誰でも
		下 中	さつきふれあいサロン	さつき公民館	高齢者
地域福祉コーディネーター 設置経費助成	4 月 1 日 ～ 3 月 31 日	12 地区で地域福祉コーディネーター会を設置 ＜補助金交付コーディネーター会（9 か所）＞ ※表中に記載のない会についても運営を支援（早川、下府中、酒匂地区）			
		地区名	コーディネーター会名称・主な活動内容	人数	
		足 柄	あしがらスマイルの会 ／生活応援隊運営・地区社協活動運営協力	12	
		久 野	ささえあい久野・ひまわりの会 ／ふれあいカフェ設立準備・支援情報発信	15	
		東富水	地域福祉コーディネーター会 ／広報活動・高齢者への支援活動	5	
		富 水	とみず向日葵会 ／いきいき健康事業運営・広報活動	11	
		豊 川	地域福祉コーディネーター会 ／生活応援隊運営	12	
		上府中	おたすけ隊コーディネーター会 ／生活応援隊運営	19	
		下曽我	地域福祉コーディネーター会・憩 ／サロン運営参加協力・地区社協活動運営協力	14	
		国府津	地域福祉コーディネーター会 サロン企画運営・おたよりの作成等	9	
		前 羽	ケアタウン推進委員会 ／生活応援隊、サロン運営・見守り活動	9	

地域福祉コーディネーター 養成研修会	7 月 ～ 9 月	地域福祉を推進する人材や地区社協の運営を実践的に担う人材を幅広い分野から発掘・養成しました。						
		<table><tr><th>期 日</th><th>内 容</th></tr><tr><td>① 7 月 31 日</td><td>講義①「人生 100 年時代！子どもも高齢者も豊かに生き抜ける地域に」～今、地域に求められる、多様な魅力を持つ地域福祉コーディネーター～</td></tr><tr><td>② 8 月 21 日</td><td>講義②「目指すは、身近な地域での顔が見える関係づくり」～会いたい人に会える！やりたいことができる！場づくりを！～</td></tr><tr><td>③ 9 月 18 日</td><td>講義③ (1)「伝える」→「伝わる」→「動かす」へ！伝えよう！地域の価値を！人のチカラを！ (2)ポストからごみ箱に直行させない広報紙づくりの提案 (3)効果的な写真を撮る!!狙おう奇跡の一枚を</td></tr></table> 全日程においてグループワークを行い、参加者同士の対話を重ねながら学びを深める構成としました。 ①では、地域に暮らす高齢者や子ども・若者等を取り巻く現状や課題について理解を深め、課題解決に向けた地域福祉コーディネーターの必要性を学びました。②では、地域福祉コーディネーターに求められる役割や活動展開のための関係づくりや居場所づくりなどについて具体的な事例を通して学びました。③では、地域活動を伝える広報紙の重要性や魅力的な広報紙の作り方について講義と実践を交えて学びました。（受講者数：12 名） 講師 ・NPO 法人よこはま地域福祉研究センター センター長 佐塚 玲子 氏（全回） ・ナチュラルフォト横浜 カメラマン 柏田 貴代 氏（最終回のみ） ・小田原市社会福祉協議会 秋山 浩樹（最終回のみ）	期 日	内 容	① 7 月 31 日	講義①「人生 100 年時代！子どもも高齢者も豊かに生き抜ける地域に」～今、地域に求められる、多様な魅力を持つ地域福祉コーディネーター～	② 8 月 21 日	講義②「目指すは、身近な地域での顔が見える関係づくり」～会いたい人に会える！やりたいことができる！場づくりを！～
期 日	内 容							
① 7 月 31 日	講義①「人生 100 年時代！子どもも高齢者も豊かに生き抜ける地域に」～今、地域に求められる、多様な魅力を持つ地域福祉コーディネーター～							
② 8 月 21 日	講義②「目指すは、身近な地域での顔が見える関係づくり」～会いたい人に会える！やりたいことができる！場づくりを！～							
③ 9 月 18 日	講義③ (1)「伝える」→「伝わる」→「動かす」へ！伝えよう！地域の価値を！人のチカラを！ (2)ポストからごみ箱に直行させない広報紙づくりの提案 (3)効果的な写真を撮る!!狙おう奇跡の一枚を							

地域福祉コーディネーター養成研修会 「フォローアップ研修会」	2 月 13 日	平成 20 年度から令和 7 年度までの地域福祉コーディネーター養成研修会受講者と地区社会福祉協議会会長を対象として、希望制により開催し、養成研修会受講後の活動内容の発表や参加者同士の交流を通じ、今後の活動に繋げていく場として開催しました。(参加者数：81 名) 【基調講演】 「住民コーディネーターだからこそ！ ～共感から協働へ！ビジョン型地域づくりのススメ～」 講師 NPO 法人よこはま地域福祉研究センター センター長 佐塚 玲子 氏 【実践報告】 ・「みんなで楽しく成長している『サロンこうづ』のこと」 ：国府津地区 ・「仲間を集めてはじめた子ども食堂『かもすたごはん』のこと」 ：下府中地区 【交流会】＜ワールドカフェ形式で自由に意見交換＞ 「みんなで意見を出し合おう！『共感⇒協働へ』どうしたら地域づくりの仲間が広がる？」 ファシリテーター NPO 法人よこはま地域福祉研究センター センター長 佐塚 玲子 氏
きずなチーム 全体研修会	11 月 27 日	地域住民による見守り活動の重要性や地域の繋がり大切さを再認識していただくとともに、第 5 期小田原市地域福祉活動計画の策定を見据えて、見守り活動の担い手や活動内容、活動方法、地域内の位置づけ、組織化の有無等についての現状を把握することとあわせ、今後の見守り活動の方向性等についても考えていただく機会としました。(参加者数：108 名) 【意見交換会：見守り活動のこれからを考える】 ・オリエンテーション・活動状況シートの記入 ・他地区の活動紹介（動画視聴含む） ・交流・意見交換（ワールドカフェ） ・これからシートの記入
きずなチーム 代表者連絡会	9 月 22 日	各地区のきずなチーム代表者同士でそれぞれの見守り活動の現状や今後の見守り活動について情報共有や意見交換をしていただくことを目的に開催しました。(参加者数：22 名) ・市社協が理想と考える「きずなチーム活動」について説明 ・情報提供シート「地域の見守り活動の現状」の集計報告 ・情報交換「地域の見守り活動の現状とこれからについて」 (1)他都道府県の見守り活動の動画視聴 (2)情報交換 ・全体研修会の案内と参加者のとりまとめを依頼

きずなチーム 事業周知・地区 別研修会等	① 6月13日 ② 6月17日 ③ 6月21日 ④ 6月26日 ⑤ 6月28日 ⑥ 8月31日 ⑦ 12月12日 ⑧ 3月14日	地区の活動の活性化を図ること等を目的に、事業概要の説明・周知や地区別研修会（視察研修は除く）等への参加・支援を行いました。			
		No.	地区名	内容	参加者数
		①	大 窪	交流会（情報交換会）	26
		②	桜 井	情報交換会	48
		③	山王網一色	全体会	33
		④	富 水	研修会	45
		⑤	二 川	研修会	26
		⑥	早 川	研修会	37
		⑦	桜 井	情報交換会	48
		⑧	前 羽	研修会	30
市内社会福祉法人 交流会	2月9日 (中止)	社会福祉法人・福祉施設との有機的な連携を図り、地域福祉の発展強化を目的として、社会福祉法人交流会を開催 【内容】 「BCPの実効性と実際について～小田原の事例とともに～」 ○講師兼コーディネーター 神奈川県社会福祉協議会 福祉サービス推進部 参事兼福祉サービス推進課長 大関晃一氏 ○事例提供 1 社会福祉法人長寿会 理事長 加藤馨氏 2 社会福祉法人よるべ会 よるべ沼代 施設長 東海康行氏 3 社会福祉法人宝安寺社会事業部 理事長 大水健晴氏 【参加者】 13法人・28名 ※積雪のため、次年度に延期			
ふらっと城山の 運営	4月1日 ～ 3月31日	地域の交流拠点として、誰もが気軽に立ち寄れる場として、ふらっと城山を運営しました。 ・開設日：月～金曜日（祝祭日、年末年始を除く） ・開催時間：午前10時から午後4時まで ・来場者数：延べ792名			
福祉活動助成 (地域共生社会 推進団体応援 補助事業)	4月21日 ～ 6月4日 (交付日)	地域共生社会の推進に取り組む、多様な担い手の活動を支援するため、1団体につき3万円を上限として補助金を交付しました。 交付件数：3件 交付総額：90,000円 ①サロン「ちょっとそこまで」 交付金額：30,000円 ②下曽我おせっ会 交付金額：30,000円 ③上府中地区社会福祉協議会 交付金額：30,000円			

三者合同研修会	8月29日	地域を支える主要三団体（自治会連合会、地区民児協、地区社協）の連携・連帯感をより強固なものとし、社協組織全体で様々な課題の解決に向けて取り組んでいくため、各団体の代表者による研修会を開催しました。 「富士山火山について」 小田原市防災部 専門監 津川正宏氏 「ファーストミッションボックス（愛知県碧南市視察）について」 小田原市自治会総連合 会長 関野次男氏
社協さんちの 井戸端会議 ～これからも！ 地域づくりはみ んなが参加～	3月8日	各地区で取り組まれている住民主体の活動をより充実したものとしていただくため、活動実践者等による交流イベントを開催しました。 来場者数：270名 会 場：おだわら総合医療福祉会館 4階 内 容：①事例・活動発表 3団体 ②ステージ発表 3団体 ③パネル展示・体験 13団体 ④製品販売・飲食提供 13福祉事業所等 ※法人設立50周年記念事業イベント

8 【各種支援事業】

【高齢者対策事業】

令和7年度における事業成果

生活支援体制整備事業コーディネーター業務により、関係機関等との連携が図られました。アクティブシニア応援ポイント事業については、高齢者の集いの場等で効果的な周知啓発を行い、前年度に比べて、登録者数、活動数ともに増加し、社会参加や生きがいづくりにつなげることができました。

その他の事業では、継続的な支援を行うことにより、効果的な事業展開を図ることができました。

事業名等	期 日	内 容 等					
福祉活動助成 (年末たすけあい義援金配分事業)	7月1日 (交付日)	小田原市老人クラブ連合会に事業費の助成					
食の自立支援事業 (受託事業)	4月1日 ～ 3月31日	1 年間配食状況 【高齢介護課分】					
		内容等/月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計
		普通食数	992	829	745	687	3,253
		特別食数	1,026	1,004	1,010	866	3,906
		合計	2,018	1,833	1,755	1,553	7,159

食の自立支援事業 (受託事業)	4月1日 ～ 3月31日	【障がい福祉課分】								
		内容等/月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計			
		普通食数	0	0	0	0	0			
		特別食数	65	66	66	6	203			
		合計	65	66	66	6	203			
		【合計（高齢介護課分＋障がい福祉課分）】								
		内容等/月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計			
		普通食数	992	829	745	687	3,253			
		特別食数	1,091	1,070	1,076	872	4,109			
		合計	2,083	1,899	1,821	1,559	7,362			
2 利用者数										
【高齢介護課分】										
内容等/月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計					
普通食数	58	52	48	48	206					
特別食数	48	42	42	40	172					
合計	106	94	90	88	378					
【障がい福祉課分】										
内容等/月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計					
普通食数	0	0	0	0	0					
特別食数	3	3	3	1	10					
合計	3	3	3	1	10					
3 配食事業者数（再委託） … 3事業者（年度末時点）										
アクティブシニア 応援ポイント事業 (受託事業)	4月1日 ～ 3月31日	1 ボランティア受入施設・事業 126 有料老人ホーム 14／サービス付き高齢者住宅 3／特別養護老人ホーム 9／介護老人保健施設 5／グループホーム 15／短期入所施設 1／軽費老人ホーム 1／小規模多機能型居宅介護施設 5／看護小規模多機能型居宅介護施設 1／通所介護施設 22／介護医療院 1／住民主体型サービス事業所 1／サービス付き高齢者住宅・小規模多機能型居宅介護施設 1／障がい者福祉施設 11／地域包括支援センター3／小田原市施設・事業 32／その他 1								
		2 ボランティア活動参加登録者								
		(1) 登録者数 166名 内訳 更新者 108名／新規登録者 58名								
		(2) 年齢分布								
		年齢	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
		人数	20	24	26	47	34	13	2	166
		男性	6	7	3	7	7	4	0	34
		女性	14	17	23	40	27	9	2	132

アクティブシニア 応援ポイント事業 (受託事業)	4月1日 ～ 3月31日	3 ボランティア活動数						
		月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計	
		スタンプ数	952	856	1,085	934	3,827	
		延べ人数	574	507	646	619	2,346	
		1時間＝1スタンプ＝1人＝1活動数						
		4 ポイント交換数＜交換期間：2025年4月1日～7月31日＞						
		月	4月	5月	6月	7月	合計	
		ポイント数	257,000	5,000	4,000	1,000	267,000	
		交換人数（人）	71	3	2	1	77	
		内訳 (人数)	1,000	7	2	0	1	10
			2,000	12	0	2	0	14
			3,000	9	1	0	0	10
			4,000	16	0	0	0	16
			5,000	27	0	0	0	27
		引換商品数（個）	94	3	2	1	100	
※2024年4月1日から2025年3月31日までの活動に対し付与されたスタンプ数に応じ、ポイント交換されたもの								
5 参加希望者向け説明会								
より多くの方に参加していただくため、参加希望者向け説明会を実施しました。								
No.	期日	会場	内容	参加者数				
1	5月20日	川東タウンセンター マロニエ	○事業説明 ○体験談 ○ボランティア の心得等	4名				
2	6月13日	おだわら市民交流センター UMECO		9名				
3	6月24日	川東タウンセンター マロニエ		11名				
4	7月11日	おだわら市民交流センター UMECO		4名				
5	7月25日	川東タウンセンター マロニエ		7名				
6 登録者向けセミナー								
登録者同士で情報交換や交流をしていただく機会として、登録者向けセミナーを開催しました。								
日時	11月13日							
会場	おだわら総合医療福祉会館							
内容	①講話「早めの終活で充実したシニアライフを送りませんか？」							

アクティブシニア 応援ポイント事業 (受託事業)	4月1日 ～ 3月31日	講師：小田原シニアライフ協議会 榎 利絵子 氏 ②交流会 参加者 19名 7 周知・啓発について 参加者増加に向けた周知・啓発活動を実施しました。 (1)参加希望者向け説明会開催チラシの作成・配布 市内21の公共施設等に配架・協力を依頼するとともに、短期集中通所型サービス事業（第8回目）、地区サロン、地区いきいき健康事業、市老連、介護サービス事業者連絡会等で事業説明・チラシ配布を行いました。（合計29回） (2)市及び市社協広報誌への記事掲載、J:COM 放映等により情報を発信しました。 (3)PR用品の作成及び配布、在庫管理 クリアホルダーを作成し、登録者へ配布することとしました。 (4)通信誌「はっするきゃっする通信」の発行 通信誌を作成し、受入施設及び参加登録者等に配付しました。 ①令和7年9月発行 ②令和8年3月発行 (5)アンケート調査を実施（令和8年3月） 受入施設及び参加登録者にアンケート調査を実施しました。
勤 ケアタウン推進に係る連携協定の締結および移動スーパー事業	11月18日 ～ 3月31日	小田原市とマックスバリュ東海㈱との三者間において、ケアタウンの推進にかかる連携協定を締結し、協定に基づきマックスバリュ東海㈱が主体となって行う移動スーパー事業に対し、側面支援を行いました。 【主な側面支援の内容】 (1)各地域のニーズに応じた事業実施方法等の助言 (2)地元自治会等との事業実施に関する調整

生活支援体制整備事業 コーディネーター業務 (受託事業)	4月1日 ～ 3月31日	地域における高齢者の生活支援等サービスの構築に向けたコーディネート機能を担うことを目的に、連合自治会（地区社協）を単位としてコーディネーターを配置しました。 具体的には、次の各項目に沿った地域の活動を市に報告し、市全体のコーディネーター（市職員）と情報を共有しました。																		
		1 地域資源（活動）として報告したもの																		
		<table><tr><th>報告内容</th><th>報告件数</th></tr><tr><td>資源把握 新規に把握した活動件数</td><td>1,791</td></tr><tr><td>資源開発 地域に必要なサービス（活動）の開発件数</td><td>3</td></tr><tr><td>活動する場 元気な高齢者が担い手として活動する場（サロン）等の件数</td><td>1,261</td></tr><tr><td>マッチング 支援ニーズとサービス提供主体の活動をマッチングした件数</td><td>23</td></tr></table>	報告内容	報告件数	資源把握 新規に把握した活動件数	1,791	資源開発 地域に必要なサービス（活動）の開発件数	3	活動する場 元気な高齢者が担い手として活動する場（サロン）等の件数	1,261	マッチング 支援ニーズとサービス提供主体の活動をマッチングした件数	23								
		報告内容	報告件数																	
		資源把握 新規に把握した活動件数	1,791																	
		資源開発 地域に必要なサービス（活動）の開発件数	3																	
		活動する場 元気な高齢者が担い手として活動する場（サロン）等の件数	1,261																	
		マッチング 支援ニーズとサービス提供主体の活動をマッチングした件数	23																	
		2 協議体として報告したもの																		
		<table><tr><th>報告内容</th><th>報告件数</th></tr><tr><td><協議体の目標> 多様な主体が参画する定期的な情報の共有・連携強化の場として「協議体」の会議を運営する。 <令和7年度の報告内容> 地区社協の諸会議やまちづくり委員会関連の会議等を協議体として位置付けて報告 また、ネットワーク構築として、関係者間の情報共有等を目的に協議する場についても報告</td><td>609</td></tr></table>	報告内容	報告件数	<協議体の目標> 多様な主体が参画する定期的な情報の共有・連携強化の場として「協議体」の会議を運営する。 <令和7年度の報告内容> 地区社協の諸会議やまちづくり委員会関連の会議等を協議体として位置付けて報告 また、ネットワーク構築として、関係者間の情報共有等を目的に協議する場についても報告	609														
報告内容	報告件数																			
<協議体の目標> 多様な主体が参画する定期的な情報の共有・連携強化の場として「協議体」の会議を運営する。 <令和7年度の報告内容> 地区社協の諸会議やまちづくり委員会関連の会議等を協議体として位置付けて報告 また、ネットワーク構築として、関係者間の情報共有等を目的に協議する場についても報告	609																			
3 地域包括支援センターが主体的に関わる高齢者のつどいの場への保険加入負担 地域包括支援センターが主体的に関わる通いの場等に対する全社協ボランティア行事用保険の加入保険料の負担 【認知症カフェ】または【サロン】																				
<table><tr><th>No.</th><th>保険加入の申し込みのあった通いの場（地域包括名）【種別】</th></tr><tr><td>1</td><td>かふえ・えりむ【認】</td></tr><tr><td>2</td><td>じょうなんカフェ刻きめきチトセヤ（じょうなん）【認】</td></tr><tr><td>3</td><td>フラワークラブ（はくさん）【サ】</td></tr><tr><td>4</td><td>オレンジカフェこうちなか（ひがしとみず）【認】</td></tr><tr><td>5</td><td>オレンジカフェかくれんぼ（とみず）【認】</td></tr><tr><td>6</td><td>ろばのあし（とよかわ・かみふなか）【認】</td></tr><tr><td>7</td><td>サロン「ちょっとそこまで」（さかわ・こやわた・ふじみ）【サ】</td></tr><tr><td>8</td><td>ボッチャの会（さかわ・こやわた・ふじみ）【サ】</td></tr><tr><td>9</td><td>オレンジカフェさかわこやわた（さかわ・こやわた・ふじみ）【認】</td></tr></table>	No.	保険加入の申し込みのあった通いの場（地域包括名）【種別】	1	かふえ・えりむ【認】	2	じょうなんカフェ刻きめきチトセヤ（じょうなん）【認】	3	フラワークラブ（はくさん）【サ】	4	オレンジカフェこうちなか（ひがしとみず）【認】	5	オレンジカフェかくれんぼ（とみず）【認】	6	ろばのあし（とよかわ・かみふなか）【認】	7	サロン「ちょっとそこまで」（さかわ・こやわた・ふじみ）【サ】	8	ボッチャの会（さかわ・こやわた・ふじみ）【サ】	9	オレンジカフェさかわこやわた（さかわ・こやわた・ふじみ）【認】
No.	保険加入の申し込みのあった通いの場（地域包括名）【種別】																			
1	かふえ・えりむ【認】																			
2	じょうなんカフェ刻きめきチトセヤ（じょうなん）【認】																			
3	フラワークラブ（はくさん）【サ】																			
4	オレンジカフェこうちなか（ひがしとみず）【認】																			
5	オレンジカフェかくれんぼ（とみず）【認】																			
6	ろばのあし（とよかわ・かみふなか）【認】																			
7	サロン「ちょっとそこまで」（さかわ・こやわた・ふじみ）【サ】																			
8	ボッチャの会（さかわ・こやわた・ふじみ）【サ】																			
9	オレンジカフェさかわこやわた（さかわ・こやわた・ふじみ）【認】																			

生活支援体制整備事業 コーディネーター業務 (受託事業)	4月1日 ～ 3月31日	4 高校生の教えるスマホ教室 生活必需品となったスマートフォンの操作に苦手意識のある高齢者を対象としたスマホ教室を地域包括支援センターの協力を得て開催。デジタル機器の扱いに抵抗のない高校生に講師を依頼し、スマホの操作に困っている高齢者と若者との交流の機会とした。また、パラスポーツ「ボッチャ交流会」を開催。 【講師】明徳学園相洋高等学校社会福祉部 【協力】地域包括支援センターしろやま・クリスチャンセンター・小田原市高齢介護課（生活支援コーディネーター第1層） (事前学習)																						
		<table><tr><td>期日</td><td>内容</td><td></td></tr><tr><td>7/10</td><td>高齢者を知る勉強会 認知症サポーター養成研修会」 講師 地域包括支援センターしろやま</td><td>10名</td></tr></table> (スマホ教室)	期日	内容		7/10	高齢者を知る勉強会 認知症サポーター養成研修会」 講師 地域包括支援センターしろやま	10名																
		期日	内容																					
7/10	高齢者を知る勉強会 認知症サポーター養成研修会」 講師 地域包括支援センターしろやま	10名																						
<table><tr><td>No.</td><td>期日</td><td>参加者</td><td>講師 (高校生)</td><td>協力</td><td>場所</td></tr><tr><td>1</td><td>7/26</td><td>9名</td><td>9名※1</td><td>久野地区地域福祉 コーディネーター会</td><td>おだわら総合医療福祉会館</td></tr><tr><td>2</td><td>7/30</td><td>8名</td><td>6名</td><td>包括しろやま</td><td>小田原クリスチャンセンター</td></tr><tr><td>3※2</td><td>3/24</td><td>24名</td><td>11名</td><td>手話サークル たんぽぽ</td><td>おだわら総合医療福祉会館</td></tr></table> ※1 講師9名のうち、社会人ボランティア1名 ※2 事前学習「手話」について時間内で実施 (ボランティアセンター再掲)	No.	期日	参加者	講師 (高校生)	協力	場所	1	7/26	9名	9名※1	久野地区地域福祉 コーディネーター会	おだわら総合医療福祉会館	2	7/30	8名	6名	包括しろやま	小田原クリスチャンセンター	3※2	3/24	24名	11名	手話サークル たんぽぽ	おだわら総合医療福祉会館
No.	期日	参加者	講師 (高校生)	協力	場所																			
1	7/26	9名	9名※1	久野地区地域福祉 コーディネーター会	おだわら総合医療福祉会館																			
2	7/30	8名	6名	包括しろやま	小田原クリスチャンセンター																			
3※2	3/24	24名	11名	手話サークル たんぽぽ	おだわら総合医療福祉会館																			
注文をまちがえる あつまあるかふえ	9月21日	5 市営住宅食料支援における惣菜提供支援 高齢者が多く入居している市営住宅で開催される地域住民主体の食料配布の際に実施される報徳食品支援センターの惣菜提供に対し、惣菜容器の提供を実施 【実施時期】令和7年4月・令和8年2月（計6回） 【対象】桑原住宅・仲沢住宅・籠場住宅・久野住宅・春木住宅 花里住宅（令和7年8月～） 約204世帯																						
		認知症の方々にカフェでオーダーをとるなどの仕事を接客として担当していただくことで、注文を間違えることがあっても、笑顔で受け入れる寛容な社会づくりのきっかけとして開催に協力 【主催】小田原市グループホーム・小規模多機能連絡会 【協力】地域包括支援センターしろやま・はくおう／福）宝安寺社会事業部・高齢介護課・社会福祉協議会																						

[児童対策事業]

令和 7 年度における事業成果

交通遺児世帯や父子家庭の児童生徒に対する支援、また、里親会等に継続的な助成を行い、児童福祉における効果的な事業展開を図ることができました。

事業名等	期 日	内 容 等
交通遺児援護事業	4 月 1 日 ～ 3 月 31 日	対象人員・世帯 3 名 (2 世帯) <見舞金贈呈> 該当者なし ※令和 5 年 1 1 月 1 日から保護者が交通事故により、重度障害 (身体障害者 1 級、身体障害者 2 級、精神障害者 1 級) を負った場合も対象 <激励金贈呈> 2 名 内訳：中学校 1 学年修了者 1 名 高等学校 1 学年修了者 1 名 <支度金贈呈> 該当者なし <祝い金贈呈> 該当者なし <支給品贈呈> 2 名 内訳：中学生 1 名、高等学校生 1 名
父子家庭援護事業 (年末たすけあい義援金配分事業)	12 月～1 月	5 4 名に図書カードを贈呈
福祉活動助成 (年末たすけあい義援金配分事業)	9 月 10 日 (交付日)	母子寡婦福祉会に事業費の助成
	7 月 1 日 (交付日)	西湘なでしこ会に事業費の助成

[障がい者対策事業]

令和 7 年度における事業成果

障がい者福祉活動団体等へ継続的に支援を行い、障がい者の円滑な参加に繋げることができました。市が設置した地域障害者自立支援協議会の運営にも協力しました。

事業名等	期 日	内 容 等
地域障害者自立 支援協議会	全体会 ①6 月 30 日 ②11 月 10 日 ③3 月 17 日	小田原市、箱根町、真鶴町及び湯河原町において、障がい者の地域での自立生活を支えるため、相談支援事業の適切な実施、関係機関のネットワーク構築、差別の解消を推進することを目的に開催されました。
	権利擁護部会 2 月 9 日	「企業における合理的配慮」についての研修会及びグループワーク ※降雪のため延期
	精神障がい者 地域生活 支援部会 ①10 月 2 日 ②12 月 15 日 ③3 月 6 日	精神障害に関する地域課題抽出のためのアンケートについて検討しました。 精神障害に関する地域課題抽出のためのアンケートの内容とアンケート対象者の検討をしました。

福祉活動助成 (年末たすけあい義援金配分事業)	7月25日 (交付日)	小田原市障害者地域事業所連絡会に事業費の助成
観 ドキュメンタリー作品 「生きる」特別上映会	2月3日	難病と向き合いながら“生きる意味”を問い続けた当事者の実体験を描いたドキュメンタリー映像作品「生きる」を医療従事者や福祉関係者に届けることを目的に小田原医師会等と共催により上映会を開催しました。 【内 容】(1)監督挨拶・作品紹介 (2)上映 (3)トークセッション (Juri・中村医師・桐原監督) 【参加者】45名

9【ボランティアセンター活動】

令和7年度における事業成果

ボランティア相談のうち、ボランティアへの相談援助では、ごみ捨て、障がい児の登校支援の相談が継続してありました。また、地域活動、福祉施設でのイベントを行う際のレクリエーション提供のボランティア相談が増加となりました。

ボランティア講座受講生を含めたボランティア活動希望者が60代後半から70代の方が多く、就労年齢の引き上げの影響と見受けられます。従前から行っている夏休み期間中に行う福祉体験学習の参加が減少する一方で、小学校を対象とした車イスバスケットボール体験は好評でした。今後、幅広い年代の方々がボランティア活動に参加しやすい機会の提供について工夫していくことが課題と考えます。

また、住民のボランティア活動を推進するとともに、従来行っていたボランティア登録について見直しをはかり、ボランティア登録制度実施要項を策定しました。

事業名等	期 日	内 容 等						
ボランティア相談と 拠点の提供	4 月 1 日 ～ 3 月 31 日	学生や社会人など、幅広い市民の方々が活用しやすいボランティアセンターを目指して、相談対応等を行いました。 (開館日 月曜日～金曜日 午前 8 時 30 分～午後 5 時まで)						
ボランティア依頼等 の相談受付及び 連絡調整	4 月 1 日 ～ 3 月 31 日	A.ボランティア相談 …51 件 (1)これから活動を希望する方からの相談 …47 件 (2)活動しているボランティア自身からの相談…4 件 B.ボランティアへの援助依頼等の相談 …95 件 高齢者、障がい児・者の介護者、または本人から寄せられる日常生活上の相談や、行政や各種団体から寄せられるイベント等への協力依頼などの相談を受け付け、対応していただけるボランティアとの連絡調整を行いました。 (1)高齢者からの相談 …7 件 <table><tr><th>内 容</th><th>件数</th></tr><tr><td>話し相手等傾聴支援</td><td>3</td></tr><tr><td>ごみ捨て等生活支援</td><td>4</td></tr></table>	内 容	件数	話し相手等傾聴支援	3	ごみ捨て等生活支援	4
内 容	件数							
話し相手等傾聴支援	3							
ごみ捨て等生活支援	4							

ボランティア依頼等の相談受付及び連絡調整

4月1日
～
3月31日

(2)障がい児・者からの相談 …15 件

内 容	件数
外出等支援	1
話し相手等傾聴支援	6
ごみ捨て等生活支援	4
遊び相手・託児支援	2
その他	2

(3)行政等関係機関からの相談…11 件

内 容	件数
外出等支援	5
話し相手等傾聴支援	1
ごみ捨て等生活支援	1
遊び相手・託児支援	1
その他	3

(4)団体（地縁団体含む）からの相談…17 件

内 容	件数
話し相手等傾聴支援	1
遊び相手・託児支援	5
イベント・祭り等 レクリエーション支援	10
その他	1

(5)施設からの相談…29 件

内 容	件数
外出等支援	1
イベント・祭り等 レクリエーション支援	26
その他	2

(6)介護事業所からの相談…13 件

内 容	件数
外出等支援	2
話し相手等傾聴支援	2
ごみ捨て等生活支援	6
イベント・祭り等 レクリエーション支援	3

(7)学校からの相談…1 件

内 容	件数
その他	1

(8)その他からの相談…2 件

内 容	件数
ごみ捨て等生活支援	1
イベント・祭り等 レクリエーション支援	1

ボランティア依頼等の相談受付及び連絡調整	4月1日 ～ 3月31日	C.福祉学習相談…18件 (1)個人からの相談…8件 (2)団体からの相談…10件 D.その他の相談（各種制度の紹介、広報依頼、寄付等）…44件 ■年間延べ相談・連絡調整件数（上記A+B+C+D）…208件																																																		
登録ボランティアの状況等（参考）	3月31日 現在	1 個人登録ボランティア数 … 257名 (1)年齢・性別属性 <table><tr><td>年 代</td><td>男性(名)</td><td>女性(名)</td><td>計(名)</td></tr><tr><td>～30歳</td><td>1</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>31～40歳</td><td>5</td><td>17</td><td>22</td></tr><tr><td>41～50歳</td><td>11</td><td>23</td><td>34</td></tr><tr><td>51～60歳</td><td>16</td><td>33</td><td>49</td></tr><tr><td>61～70歳</td><td>13</td><td>35</td><td>48</td></tr><tr><td>71～80歳</td><td>14</td><td>50</td><td>64</td></tr><tr><td>81歳以上</td><td>9</td><td>25</td><td>34</td></tr><tr><td>合 計</td><td>69</td><td>188</td><td>257</td></tr></table> (2)職業別属性 <table><tr><td>属 性</td><td>人 数</td></tr><tr><td>学生</td><td>2</td></tr><tr><td>勤労者</td><td>95</td></tr><tr><td>主婦</td><td>91</td></tr><tr><td>自営業</td><td>15</td></tr><tr><td>無職・その他</td><td>54</td></tr><tr><td>合 計</td><td>257</td></tr></table>	年 代	男性(名)	女性(名)	計(名)	～30歳	1	5	6	31～40歳	5	17	22	41～50歳	11	23	34	51～60歳	16	33	49	61～70歳	13	35	48	71～80歳	14	50	64	81歳以上	9	25	34	合 計	69	188	257	属 性	人 数	学生	2	勤労者	95	主婦	91	自営業	15	無職・その他	54	合 計	257
年 代	男性(名)	女性(名)	計(名)																																																	
～30歳	1	5	6																																																	
31～40歳	5	17	22																																																	
41～50歳	11	23	34																																																	
51～60歳	16	33	49																																																	
61～70歳	13	35	48																																																	
71～80歳	14	50	64																																																	
81歳以上	9	25	34																																																	
合 計	69	188	257																																																	
属 性	人 数																																																			
学生	2																																																			
勤労者	95																																																			
主婦	91																																																			
自営業	15																																																			
無職・その他	54																																																			
合 計	257																																																			
登録ボランティアの状況等（参考）	3月31日 現在	2 登録ボランティアグループ…79グループ(会員数:1,963名) 3 総登録者数（個人+グループ会員数）…2,220名 ※令和7年度登録ボランティアグループ登録制度実施(新) ※令和7年度個人ボランティア登録制度実施(新)																																																		
ボランティアセンター 寄託金配分事業	9月26日	本協議会ボランティアセンターに登録しているグループ等の活動を支援するための一部経費を助成しました。 ・助成対象：ボランティアセンター登録ボランティアグループ 43グループ ・交 付 額：143万9千円 ・財 源：ボランティアセンター寄託金 ・配分方法：ボランティアセンター運営委員会で検討																																																		
	12月24日	小田原市母子寡婦福祉会 クリスマスケーキ配布事業 助成																																																		
ボランティアセンター 寄託品配分状況	4月1日 ～ 3月31日	・個人 63件 ・施設／団体 112件																																																		

福祉ボランティア スクール	4月～3月	福祉ボランティア活動に参加をしたいと考えている方を対象に、年間を通じてボランティアとしての技術的な養成、育成を目的に実施しました。			
		No.	講座名	延人数	開催期間 回数
		1	録音ボランティア養成基礎講座	46	10/7～11/11 6 小田原録音奉仕会
		2	初心者のための朗読講習会	75	5/15～6/26 7 小田原朗読ボランティアもくせい会
		3	点訳ボランティア勉強会	45	10/1～2/28 5 点訳赤十字奉仕団
		4	手話入門講座（昼間）	140	6/5～7/10 6 手話サークル松の会
		5	入門手話講習会（夜間）	100	6/5～7/3 5 手話サークル城の会
		6	手話中級講座（昼間）	115	7/22～1/27 5 手話サークルたんぼぼ
		7	要約筆記入門講座	74	2/3～2/17 3 要約筆記サークルこゆるぎ
		8	傾聴ボランティア養成講座	47	10/2～11/6 6 傾聴ボランティア「ミミの会」
		9	精神保健福祉ボランティア講座（基礎）	29	11/7～11/28 4 曾我病院他
		10	精神保健福祉ボランティア講座（フォローアップ）	8	7/18、3/14 2 ボランティアグループ「小ゆるぎ」
		11	はじめての福祉ボランティア講座（おだわら市民学校）	174	5/16～2/13 15 小田原市生涯学習課
		12	障がい児支援ボランティア講座	16	5/20、5/27 2 小田原支援学校
		13	ボランティアいちから講座	12	4/24、5/9 2 箱根町社協
		14	地区ボランティアクラブ研修会	64	6/26 1 本協議会主催
			合計	945	
福祉施設体験学習	①07月29日	次代を担う児童・生徒から社会人を対象に、福祉施設において障がい児者や高齢者の方たちと直接ふれあい、楽しく交流することで、社会福祉に理解と関心を持つ最初のステップとなり、心豊かな人間性を育むことを目的に体験学習を開催しました。			
	②8月6日				
	③7月31日				
	④8月5日				

福祉施設体験学習	①07月29日 ②8月6日 ③7月31日 ④8月5日	No.	施設名	日程	参加人員		
		1	小田原市障害児通園施設 「つくしんぼ教室」本園・分園	7/29(火)	4		
					小学生	3	
					大学生	1	
		2	潤生園在宅介護総合センター 「れんげの里」	8/6(水)	1		
			小学生	1			
福祉体験学習	8月2日	3	社会福祉法人 宝安寺社会事業部 「小田原愛児園」	7/31(木) 8/5(火)	7		
					小学生	4	
					中学生	1	
					大学生	2	
福祉体験出前講座 (車イス介助法他)	4月～3月	次代を担う児童・生徒から学生を対象に、夏休みの期間を対象に福祉について関心を持ち、心豊かな人間性を育むことを目的として短時間の体験学習を開催しました。					
		No.	講座名	講師	開催日	参加人員	
		1	目と目で伝え合い、 学び合う 「手話体験講座」	手話サークル たんぽぽ	8/2	7	
						小学生	5
						中学生	1
						高校生	1
		＜車イス介助法・高齢者疑似体験＞ 社会福祉協議会の職員が地域に出向き、市民に対して体験学習を行いました。					
		No.	期日	対象	参加人数		
		1	11月11日	ヒルトン小田原リゾート&スパ (協力：一般社団法人 神奈川県西部地区リハビリテーション協議会)	8名		
		2	2月18日	小田原・足柄地域労働者福祉協議会	16名		
		3	3月10日	下曽我地区社会福祉協議会	17名		
		＜車イスバスケットボール体験講座＞					
		No.	期日	対象	参加人数		
1	9月24日	小田原市立富水小学校	80名				
2	11月12日	小田原市立町田小学校	83名				
3	11月18日	小田原市立芦子小学校	144名				
4	12月3日	小田原市立久野小学校	81名				
5	12月12日	小田原市立山王小学校	88名				
6	12月22日	小田原市立下府中小学校	54名				
災害ボランティアセンター 研修会・打合せ等	(打合せ) 4月1日～ 3月31日	小田原市災害ボランティアセンター設置運営マニュアルに関して、関係団体との打ち合わせを重ね、改訂に向けて方向性を検討しました。					

災害ボランティアセンター 研修会・打合せ等	(研修会) 12月23日	小田原市災害ボランティアセンター設置運営マニュアルをもとに訓練を実施しました。 参加団体 小田原青年会議所・西湘災害ボランティアネットワーク・小田原市・神奈川県社会福祉協議会・箱根町社会福祉協議会・真鶴町社会福祉協議会・湯河原町社会福祉協議会ほか 14団体 計49名(市社協職員含む)																												
子どもの居場所 づくり連絡会	11月6日	「みんなの活動発表会&話しをしよう 交流会 Vol.3」 (1)「子どもの居場所づくり応援補助金について」小田原市青少年課の取り組みについて」 青少年課 (2)みんなの活動発表 ①ココドモン食堂②潤生園みんなの家ほたるだ (3)小グループに分かれて、おしゃべり時間 (4)ランチ交流会 【参加者】 参加 15団体・潤生園みんなの家ほたるだ・福) 宝安寺社会事業部・福祉政策課・地域政策課・																												
地区ボランティア クラブ代表者連絡会	1月27日	地区社協とともに地域福祉の中核である地区ボランティアクラブの成立から約50年が経過し、コロナ禍を経て、高齢化や会員の減少などの課題があるため、代表者連絡会を実施 【参加状況】 14地区 24名																												
福祉機器等貸出 状況(参考)	3月31日 現在	1 福祉機器 <table><tr><td>品名</td><td>保有台数</td><td>貸出台数</td><td>在庫台数</td></tr><tr><td>車イス</td><td>501</td><td>500</td><td>1</td></tr></table> 2 行事用機器等 <table><tr><td>品名(保有数)</td><td>貸出回数</td></tr><tr><td>着ぐるみ(2種類・2体)</td><td>16</td></tr><tr><td>綿菓子機(5台)</td><td>62</td></tr><tr><td>ポップコーン機(5台)</td><td>55</td></tr><tr><td>かき氷機(4台)</td><td>37</td></tr><tr><td>簡易テント</td><td>7</td></tr><tr><td>OHC(1台)</td><td>0</td></tr><tr><td>高齢者疑似体験セット(6セット)</td><td>38</td></tr><tr><td>講座用車イス(6台)</td><td>10</td></tr><tr><td>合計</td><td>225</td></tr></table>	品名	保有台数	貸出台数	在庫台数	車イス	501	500	1	品名(保有数)	貸出回数	着ぐるみ(2種類・2体)	16	綿菓子機(5台)	62	ポップコーン機(5台)	55	かき氷機(4台)	37	簡易テント	7	OHC(1台)	0	高齢者疑似体験セット(6セット)	38	講座用車イス(6台)	10	合計	225
品名	保有台数	貸出台数	在庫台数																											
車イス	501	500	1																											
品名(保有数)	貸出回数																													
着ぐるみ(2種類・2体)	16																													
綿菓子機(5台)	62																													
ポップコーン機(5台)	55																													
かき氷機(4台)	37																													
簡易テント	7																													
OHC(1台)	0																													
高齢者疑似体験セット(6セット)	38																													
講座用車イス(6台)	10																													
合計	225																													

ボランティアセンター情報紙「福ちゃんありがとうニュース」	9月・3月 年2回発行	ボランティアセンターから登録ボランティアへ情報紙を発行。ボランティア活動や寄付状況、福祉教育・体験講座の情報を掲載。登録ボランティア（個人・グループ）、寄付者等へ送付																									
小田原市 精神保健福祉 地域交流事業	実行委員会 5～3月	精神保健福祉に関する市民を対象とした展示等の啓発事業を実施しました。 実施にあたっては、市内の精神保健福祉関連機関で実行委員会を構成し、実行委員に職員を派遣しました。																									
	10月25日	おだわらハートフェスタ 【会場】「ハルネ小田原」うめまる広場 【内容】こころの病に関するパネルや各団体の展示、福祉施設手作り製品販売、アルコール体質判定、心理士による心理検査																									
	3月9日 ～3月13日	市役所2階市民ロビーへの展示 【内容】こころの病に関するパネルや各団体の展示																									
入園入学用手づくり布袋物プレゼント事業	12月～3月	人と人とのつながりや活用・循環の仕組みづくりにつなげることを目標に「入園入学用の布製袋物づくりの支援」を展開しました。 【製作ボランティア】市内地区ボランティアクラブに依頼 【寄付のあった袋物セット】 116セット 【贈呈数】児童養護施設 3施設・29セット 個人 32世帯・42セット 計71セット																									
勸 相洋高校社会福祉部との連携	7月～3月	市内に所在する私立明德学園相洋高校社会福祉部と連携した福祉活動を実施 【高校生が教えるスマホ教室】 ※生活支援体制整備事業として実施 (事前学習)																									
		<table><tr><td>7/10</td><td>高齢者を知る勉強会 認知症サポーター養成研修会」 講師 地域包括支援センターしろやま</td><td>10名</td></tr></table> (スマホ教室) <table><tr><th>No.</th><th>期日</th><th>参加者</th><th>講師 (高校生)</th><th>協力</th><th>場所</th></tr><tr><td>1</td><td>7/26</td><td>9名</td><td>9名※1</td><td>久野地区地域福祉 コーディネーター会</td><td>おだわら総合医療福祉会館</td></tr><tr><td>2</td><td>7/30</td><td>8名</td><td>6名</td><td>包括しろやま</td><td>小田原クリスチャンセンター</td></tr><tr><td>3※2</td><td>3/24</td><td>24名</td><td>11名</td><td>手話サークル たんぽぽ</td><td>おだわら総合医療福祉会館</td></tr></table>	7/10	高齢者を知る勉強会 認知症サポーター養成研修会」 講師 地域包括支援センターしろやま	10名	No.	期日	参加者	講師 (高校生)	協力	場所	1	7/26	9名	9名※1	久野地区地域福祉 コーディネーター会	おだわら総合医療福祉会館	2	7/30	8名	6名	包括しろやま	小田原クリスチャンセンター	3※2	3/24	24名	11名
7/10	高齢者を知る勉強会 認知症サポーター養成研修会」 講師 地域包括支援センターしろやま	10名																									
No.	期日	参加者	講師 (高校生)	協力	場所																						
1	7/26	9名	9名※1	久野地区地域福祉 コーディネーター会	おだわら総合医療福祉会館																						
2	7/30	8名	6名	包括しろやま	小田原クリスチャンセンター																						
3※2	3/24	24名	11名	手話サークル たんぽぽ	おだわら総合医療福祉会館																						

相洋高校社会福祉部との連携	7月～3月	※1 講師 9名のうち、社会人ボランティア 1名 ※2 事前学習「手話」についてスマホ教室時間内で実施												
		【進路講話】 進路の選択肢として、薬剤師を考えている生徒を対象に地域の薬剤師としての仕事について、講話を実施												
		<table><tr><td>7/14</td><td>「地域薬局の仕事について」 講話 小田原薬剤師会 会長 渡邊千括氏 薬剤師実習学生 1名</td><td>5名</td></tr></table>	7/14	「地域薬局の仕事について」 講話 小田原薬剤師会 会長 渡邊千括氏 薬剤師実習学生 1名	5名									
		7/14	「地域薬局の仕事について」 講話 小田原薬剤師会 会長 渡邊千括氏 薬剤師実習学生 1名	5名										
【地域活動支援センター ひつじの家利用者との交流】 相洋高校から一番近い障がい福祉施設として、地域活動支援センターひつじの家利用者との交流 (事前学習)														
		<table><tr><td>12/17</td><td>「こころの病気について」(ボッチャ体験) 国際医療福祉大学小田原保健医療学部 作業療法学科助教 古舘卓也氏</td><td>12名</td></tr></table>	12/17	「こころの病気について」(ボッチャ体験) 国際医療福祉大学小田原保健医療学部 作業療法学科助教 古舘卓也氏	12名									
12/17	「こころの病気について」(ボッチャ体験) 国際医療福祉大学小田原保健医療学部 作業療法学科助教 古舘卓也氏	12名												
		(交流会)												
		<table><tr><td>No.</td><td>期日</td><td>内容</td><td>人数</td></tr><tr><td>1</td><td>3/4</td><td>クッキーづくり</td><td>6名</td></tr><tr><td>2</td><td>3/27</td><td>ボッチャ</td><td>3名</td></tr></table>	No.	期日	内容	人数	1	3/4	クッキーづくり	6名	2	3/27	ボッチャ	3名
No.	期日	内容	人数											
1	3/4	クッキーづくり	6名											
2	3/27	ボッチャ	3名											
なりわい交流館野菜市	第3土曜日 4回開催	幸地区に所在するなりわい交流館が地域貢献を目的に住民のニーズがある野菜の販売を希望したことにより、障がい福祉施設が生産した野菜等の販売を実施 協力：社会福祉法人宝安寺社会事業部・NPO法人一粒の麦												

10【在宅福祉推進事業】

令和7年度における事業成果

さまざまな団体が運営主体となって、住民主体の生活支援活動が取り組まれています。実施団体の情報交換会を開催し情報共有と連携強化を図りました。また、同活動に新たに取り組むを行う地区の立ち上げや運営支援を行いました。

久野、足柄、下府中、豊川、上府中、富士見、前羽地区に対して、申請に基づく補助金を交付しました。

事業名等	期日	内容等
生活応援隊 (生活支援ボランティア) の推進	4月1日 ～ 3月31日	社会的に何らかの支援を必要とする方々を、社協及び地域がもつ様々な資源を動員し、それぞれが補いあって有効に活用する日常生活支援活動の推進に取り組みました。

● 生活応援隊活動に関する アンケート及びヒヤリングの実施	4月9日 ～ 5月12日	生活応援隊活動の状況把握を行い、今後の展開や必要となる支援 内容等について検討するための基礎データを得ることを目的に アンケート及びヒヤリングを実施しました。 6割の地区でサポーターが不足している状況が明らかになった ほか、すべての地区から同活動実施団体の情報交換の機会を望む 意見がありました。				
● 生活応援隊実施 団体情報交換会	7月15日	生活応援隊活動に取り組む団体同士の情報交換と連携促進、活動 継続の支援を目的に、情報交換会を開催しました。 参加者：10地区 17名				
生活応援隊 (生活支援ボランティア) の推進	4月1日 ～ 3月31日	No.	地区	開始時期	運営主体	
		1	東富水	平成24年4月	地区社会福祉協議会	
					活動件数	744
					依頼者数（実数）	77
					コーディネーター人数	1
					サポーター登録数	36
					サポーター活動延人数	1,032
		2	早川	平成26年4月	地域福祉コーディネーター会	
					活動件数	153
					依頼者数（実数）	6
					コーディネーター人数	4
					サポーター登録数	36
					サポーター活動延人数	160
		3	久野	平成26年11月	地域福祉コーディネーター会	
					活動件数	572
					依頼者数（実数）	40
					コーディネーター人数	4
					サポーター登録数	37
					サポーター活動延人数	807
		4	酒匂	平成27年7月	まちづくり委員会	
					活動件数	365
					依頼者数（実数）	16
					コーディネーター人数	9
					サポーター登録数	67
					サポーター活動延人数	384
		5	足柄	平成27年11月	地域福祉コーディネーター会	
活動件数	352					
依頼者数（実数）	9					
コーディネーター人数	12					
サポーター登録数	36					
サポーター活動延人数	381					

生活応援隊 (生活支援ボランティア) の推進	4月1日 ～ 3月31日	No.	地区	開始時期	運営主体	
		6	二川	平成29年2月	まちづくり委員会	
					活動件数	28
					依頼者数（実数）	26
					コーディネーター人数	4
					サポーター登録数	46
					サポーター活動延人数	41
		7	前羽	平成29年11月	地域福祉コーディネーター会	
					活動件数	756
					依頼者数（実数）	12
					コーディネーター人数	9
					サポーター登録数	17
					サポーター活動延人数	783
		8	上府中	平成31年3月	まちづくり委員会	
					活動件数	374
					依頼者数（実数）	28
					コーディネーター人数	20
					サポーター登録数	74
					サポーター活動延人数	497
		9	十字	令和2年2月	まちづくり委員会	
					活動件数	2
					依頼者数（実数）	1
					コーディネーター人数	5
					サポーター登録数	27
					サポーター活動延人数	4
		10	富士見	令和2年9月	まちづくり委員会	
					活動件数	427
					依頼者数（実数）	19
					コーディネーター人数	7
					サポーター登録数	21
					サポーター活動延人数	448
		11	豊川	令和7年12月	地域福祉コーディネーター会	
					活動件数	12
					依頼者数（実数）	12
					コーディネーター人数	12
					サポーター登録数	24
					サポーター活動延人数	24

1 1 【総合相談体制】

令和 7 年度における事業成果

相談の内容や属性を問わない「福祉まるごと相談」を実施しました。相談内容に応じ、相談員の定例会において支援内容の検討や見直しを行い、複合的な課題を抱えた世帯の支援においては、必要に応じて関係機関との連携を図りました。

福祉まるごと相談に寄せられた相談や関係機関との連携から、継続的にひきこもり関連の事業を実施、また、「参加支援」をテーマに相談支援包括化推進会議を開催し、参加支援の事業展開や各機関の相談状況を情報交換しました。また、昨年度実施した多機関研修を受け、法テラスと協働し「法テラス指定相談場所相談」を始めました。

市の重層的支援体制整備事業においては、「多機関協働事業」、「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」、「参加支援事業」を受託し、市と連携し、各種事業を推進しました。

事業名等	期 日	内 容 等
福祉まるごと 相談の実施	4 月 1 日 ～ 3 月 31 日	新規相談受付件数 140 件（前年度比 +15 件） 継続相談対応件数 延べ 1,541 件（前年度比 -712 件） 相談内容としては、経済的困窮や病気(精神疾患を含む)の相談が多くありました。また家族関係・家族の問題や社会的孤立(ニート、ひきこもり)の相談も多くありました。
定例会	月 1 ～ 2 回	福祉まるごと相談員及び貸付担当相談員で相談状況の共有、支援内容の検討、見直し事例検討等
相談支援包括化 推進会議	8 月 8 日	「参加支援」をテーマとした相談支援包括化推進会議 出席者：小田原保健福祉事務所保健予防課 市子ども若者支援課・健康づくり課・生活援護課・ 障害福祉課・福祉政策課 基幹相談支援センター 内 容(1)重層的支援体制整備事業「参加支援事業」の状況について (2)各分野の社会参加・居場所等の取り組みについて (3)ひきこもり関連相談の状況について (4)ひきこもり家族学習会・交流会について (5)情報交換・その他
ひきこもり者等 の家族支援	10 月 9 日	第 1 回ひきこもり家族学習会・交流会 「家族が安心して話せる場での思いの共有と家族の心の回復」 講 師 横浜ばらの会 大竹信子氏・滝口陽子氏 参加者 家族 5 名 関係機関 2 名

ひきこもり者等の家族支援	3月26日	第2回ひきこもり家族学習会・交流会 「プロに教わるおいしい珈琲の淹れ方講座」 講 師 株式会社スズアコーヒー店 鈴木雄介氏 参加者 家族8名 関係機関4名								
参加支援 「コレカラ」	4月1日 ～ 3月31日	福祉まるごと相談事業をはじめとする各種相談事業の相談者等に対して、様々な作業を通して社会参加の機会を提供し、その作業過程において、本会職員や参加者同士のコミュニケーションを経験することで、相談者等が抱える課題解決につなげることを目的に本事業を実施しました。 実施回数 23回（月2回 第2、第4水曜日） 参加延べ人数 116名（実数7名） 実施内容 <table><tr><td>種別</td><td>内 容</td></tr><tr><td>作業</td><td>食糧や物品の仕分け、社協広報紙発送準備、共同募金資材点検等</td></tr><tr><td>体験系</td><td>クッキング、石鹸づくり</td></tr><tr><td>レクリエーション</td><td>マットス、ウォーキング、けん玉等</td></tr></table>	種別	内 容	作業	食糧や物品の仕分け、社協広報紙発送準備、共同募金資材点検等	体験系	クッキング、石鹸づくり	レクリエーション	マットス、ウォーキング、けん玉等
種別	内 容									
作業	食糧や物品の仕分け、社協広報紙発送準備、共同募金資材点検等									
体験系	クッキング、石鹸づくり									
レクリエーション	マットス、ウォーキング、けん玉等									
重層的支援体制整備事業関係	4月～3月	(1)定例会 毎月1回 福祉政策課と重層的支援体制整備に向けた打合せを行いました。 (2)各種研修会・連絡会への参加 県社協主催研修に参加。先進市の事例説明に基づく研修や連絡会等で他市と情報交換を行いました。								
重層的支援会議の開催	4月～3月	参加支援事業における重層的支援会議（書面開催） 2回								
支援会議の運営協力	4月～3月	市が開催する多機関の連携が必要なケースの支援会議において、多機関協働事業者として会議の運営に協力しました。 支援会議 3回								
地域及び多機関向け出前講座	9月1日	小田原市教育指導課・子ども若者支援課相談員等研修会 「関係機関との連携について」 対象者：教育指導課教育相談係及び子ども若者支援課相談係相談員等 場 所：はーもにい4階ホール								
	11月26日	地域包括支援センター保健師看護師部会 「重層的支援体制整備事業の社会福祉協議会の役割について」 対象者：小田原市地域包括支援センター保健師看護師 場 所：小田原市役所 会議室								
	2月20日	Bブロック地区社協研修会 「住民に身近な福祉の相談機関」 対象者：十字・大窪・早川・片浦地区社会福祉協議会役員 場 所：生涯学習センターけやき								

地域及び多機関 向け出前講座	3月12日	Cブロック民生委員児童委員 研修会 「住民に身近な福祉の相談機関」 対象者：足柄・芦子・二川・久野地区民生委員児童委員 場 所：おだわら総合福祉会館						
重層的支援体制 整備事業におけ る参加支援事業	4月～3月	既存の社会参加に向けた事業では対応できない生活課題を抱える人やその世帯のニーズなどを丁寧に把握し、社会とのつながり作りに向けた支援を行うほか、既存の社会資源に働きかけ、又は社会資源の拡充を図ることによって多様な支援を展開しました。 (1)事業対象者のアセスメント及び支援プランの作成 相談機関を通して対象となる方の希望をもとに相談をいただきました。重層的支援会議にて対象者と決定された方に対し、支援プランを作成しました。 <table><tr><td>相談受付件数</td><td>10件</td></tr><tr><td>事業対象者</td><td>6名</td></tr><tr><td>プラン作成件数(再プラン含)</td><td>13件</td></tr></table> (2)事業対象者と支援メニューのマッチング、定着支援及びフォローアップ アセスメントを通じて、本人の希望を重視し、メニューの提案を行いました。支援開始後フォローアップを行いながら、プラン終了後の目標に対する振り返りを行いました。 (3)資源開拓及び支援メニューの創出 対象エリアで行われているサロン活動の実施団体や福祉事業所に対し事業説明、受け入れ依頼を行いました。 新規受け入れ団体 5か所 既存を含む受け入れ団体 9か所	相談受付件数	10件	事業対象者	6名	プラン作成件数(再プラン含)	13件
相談受付件数	10件							
事業対象者	6名							
プラン作成件数(再プラン含)	13件							
法テラス指定 相談場所相談	11月～3月	複雑化・複合化する相談に対応するため、各分野において包括的支援を実施している機関を対象に、法テラスと協働し、司法と福祉の連携による課題解決を目指すことを目的として、法テラス指定相談場所の設置をしました。 実施回数 4回(各月第4火曜日) ※1月は受付相談件数0のため未実施 相談件数 12件(1開催あたり3枠)						

1 2 【地域福祉相談支援事業】

令和7年度における事業成果

地区担当職員7名を地域福祉相談支援員に位置づけ、担当地域の各種団体等の運営や活動支援に取り組み、地域からの個別支援については福祉まると相談と連携しながら、個別支援と地域支援を一体的に推進する体制構築に取り組みました。

特に、担当地区の民生委員児童委員協議会定例会に参加し定期的な情報交換の機会とするとともに、地域活動の場に積極的に参加し、地域活動団体活動者とのネットワーク構築を通じて、相談を把握しやすい環境づくりに努めました。また福祉制度や社会資源に関する講座を地域で実施しました。

事業名等	期 日	内 容 等
地区民児協等での福祉制度や社会資源に関する講座の実施	3 回 (4月～3月)	早川地区民生委員児童委員協議会定例会 福祉まると相談、住民に身近な相談窓口の説明 事例紹介等
	2月20日	Bブロック地区社協研修会（再掲） 「住民に身近な福祉の相談機関」 対象者：十字・大窪・早川・片浦地区社会福祉協議会役員 場 所：生涯学習センターけやき
	3月12日	Cブロック民生委員児童委員研修会（再掲） 「住民に身近な福祉の相談機関」 対象者：足柄・芦子・二川・久野地区民生委員児童委員 場 所：おだわら総合福祉会館
アウトリーチ による活動	地域福祉相談支援員7名10地区におけるアウトリーチによる活動実績です	
	分類	内容・対象
	会議	合計
		地区民児協定例会
		103
		地区社協役員会等会議
	活動	91
		まちづくり委員会
		43
		その他
		91
		地区社協事業
	訪問・ 連絡調整	53
		ふれあいサロン
		85
		子育てサロン
		79
		子ども食堂
	合計	54
		生活応援隊関係
		2
	訪問・ 連絡調整	その他
		126
	訪問・ 連絡調整	地域団体関係者等
		3,732
	訪問・ 連絡調整	市・包括関係機関 その他
		560
	合計	
	5,019	

活動の 目的分類	分類	内容・対象	合計	分類	内容・対象	合計
	個別 支 援	アウトリーチによる問題発見	324	地域 支 援	地域アセスメント	536
		窓口や連絡などによる問題発見	104		住民が集まる場所に出向く	581
		本人へのアプローチ	68		住民が集まる場所での周知	292
		個別アセスメント	22		地域のキーパーソンとの関係構築	638
		本人・関係者との信頼関係構築	203		キーパーソン以外への関係拡張	366
		個別ケース会議等の実施・参加	8		関係機関・団体とのネットワーク構築	511
		個別支援計画の策定	0		住民に身近な相談窓口の設置・設置に向けた取 り組み	50
		既存サービスへの誘導	71		地域単位での場（居場所・協議の場）の設置・ 設置に向けた取り組み	111
		福祉まるごと相談へのつなぎ	6		問題を話し合う場のファシリテート	170
		合計	806		専門職・サービスへのつなぎ	23
					地域の問題に取り組む団体等の継続的な運営 に関する相談・支援	594
					地域の福祉課題解決力向上の支援	606
					合計	4,478

1 3 【資金貸付事業】

令和7年度における事業成果

生活福祉資金貸付事業（県社会福祉協議会実施制度）と生活つなぎ資金貸付事業（市社協独自事業）を実施し、生活困窮者自立支援制度に基づく相談機関や市福祉事務所、県社会福祉協議会等と連携して相談支援を行いました。

生活福祉資金貸付事業については、県社会福祉協議会から業務の一部委託を受け、相談、問い合わせ対応、借入申込や償還に関する事務手続きを実施しました。

緊急かつ一時的に必要な緊急小口資金のほか、日常生活必需品の購入費などの福祉資金、高等学校・大学等への進学に伴う教育支援資金の借入申込みを受け、県社会福祉協議会へ提出しました。

また、コロナ禍の特例貸付の借受世帯から償還に関する相談・問い合わせを受け、借受後のフォローアップ支援を行いました。生活状況を確認し、必要に応じて他制度の情報提供を行いました。償還が困難な借受人について、県社協に対し、償還猶予の延長または償還免除の意見書を出しました。

生活つなぎ資金貸付事業については、市福祉事務所と連携のもと、生活保護の申請が受理されたものの、初回の生活保護費支給までの生計を維持することが困難な世帯に対して、少額のつなぎ資金の貸付を行いました。

なお、年度途中から相談管理システムを導入し、事務作業などの効率化を図りました。

事業名等	期 日	内 容 等
生活福祉資金 貸付事業	4 月 1 日 ～ 3 月 31 日	相談件数…1,012 件（※下記の特例貸付の相談を除く） 申込件数…41 件（緊急小口資金…8 件、福祉資金…8 件、 教育支援資金…25 件） 貸付決定件数…39 件（緊急小口資金…7 件、福祉資金…8 件、 教育支援資金…24 件） 貸付金額 …14,674,000 円
生活つなぎ資金 貸付事業	4 月 1 日 ～ 3 月 31 日	貸付件数…69 件 貸付金額…1,895,000 円
生活福祉資金 《特例貸付》償還 概 要	令和 5 年 1 月 ～	■令和 5 年 1 月から、償還開始となった資金 令和 4 年 3 月末までに申請をして貸付けを受けた 緊急小口資金、総合支援資金（初回） ■令和 6 年 1 月から、償還開始となった資金 令和 4 年 4 月以降に申請をして貸付けを受けた 緊急小口資金、総合支援資金（初回） 総合支援資金（延長） ■令和 7 年 1 月から、償還開始となった資金 総合支援資金（再貸付） 借受人から償還が難しいと相談を受け判定免除（住民税非課税 免除）、任意免除、償還猶予の申請を案内しました。 ■判定免除…借受人及び世帯主の住民税が非課税 ■任意免除…住民税非課税以外の免除 次の 5 つのいずれかに該当する場合 ①生活保護を受給 ②精神保健福祉手帳（1 級）交付 ③身体障害者手帳（1 級または 2 級）交付 ④借受人が死亡 ⑤失踪宣告された場合 ■償還猶予…1 年間の償還猶予 次の 6 つのいずれかに該当 ①地震や火災に被災 ②病気療養中 ③失業または離職中 ④奨学金や事業者向けのローン （住宅ローンを除く）など、他の借入金の償還猶予を 受けている ⑤自立相談支援機関に相談後、自立相談支 援機関から償還猶予を行うことが適当であると意見を受 けた ⑥県社協（市社協）会長が①～④と同程度の事由 によって償還することが著しく困難であると認められる

生活福祉資金 《特例貸付》償還	4月1日 ～ 3月31日	【フォローアップ支援】 償還相談対応、猶予・免除申請件数 (令和7年4月1日～令和8年3月31日)			
		件数(延べ)	相談対応	申請	市社協意見書作成 (フォローアップ支援用)
		償還免除	49	18	16
		償還猶予	112	24	24
		その他	297		
		合 計	458	42	40
*その他は償還方法についての問い合わせほか					
参 考 生活福祉資金 貸付事業 《特例貸付》	令和2年 3月25日 ～ 令和4年 9月30日 *総合支援資金(延長) 令和3年3月末終了 *総合支援資金(再貸付) 令和3年12月末終了	相談対応件数 通算件数 16,065 件 借入申込 通算件数 5,653 件 申請額 22億5千209万円			
		【資金別申請件数内訳】 ■緊急小口資金 通算件数 2,172 件 借入申込申請金額 通算 3億9千891万円 ■総合支援資金(初回) 通算件数 1,758 件 借入申込申請金額 通算 9億3千141万円 ■総合支援資金(延長) 通算申請件数 688 件 借入申込申請金額 通算 3億6千554万円 ■総合支援資金(再貸付) 通算申請件数 1,035 件 借入申込申請金額通算 5億5千623万円			

14【日常生活自立支援事業】

令和7年度における事業成果

認知症や障がいなどで判断能力が不十分であっても、自らが自立した日常生活の継続を望む利用希望者と必要な契約を締結し、それに基づき支援を行いました。

契約については、判定会議を事務局内で8回開催し、新規契約希望28件、契約追加希望1件、支援計画変更23件について審査しました。

事業名等	期 日	内 容 等
契約判定会議	① 4月28日	<議題等> (1) 契約締結の審査について(1件) (2) 支援計画の変更について(1件) 出席者：事務局長、権利擁護係職員(6名)
	② 6月3日	<議題等> (1) 契約締結の審査について(4件) (2) 支援計画の変更について(2件) 出席者：事務局長、権利擁護係職員(6名)

契約判定会議	③ 7月1日	＜議題等＞ (1) 契約締結の審査について（3件） (2) 支援計画の変更について（5件） 出席者：事務局長、権利擁護係職員（6名）																																													
	④ 8月1日	＜議題等＞ (1) 契約締結の審査について（2件） 出席者：事務局長、権利擁護係職員（6名）																																													
	⑤ 9月2日	＜議題等＞ (1) 契約締結の審査について（2件） (2) 支援計画の変更について（2件） 出席者：事務局長、権利擁護係職員（6名）																																													
	⑥ 11月27日	＜議題等＞ (1) 契約締結の審査について（6件） (2) 支援計画の変更について（4件） 出席者：事務局長、権利擁護係職員（6名）																																													
	⑦ 1月28日	＜議題等＞ (1) 契約締結の審査について（3件） (2) 支援計画の変更について（8件） 出席者：事務局長、権利擁護係職員（6名）																																													
	⑧ 3月30日	＜議題等＞ (1) 契約締結の審査について（7件） (2) 契約追加について（1件） (3) 支援計画の変更について（1件） 出席者：事務局長、権利擁護係職員（6名）																																													
サービス提供状況	4月1日 ～ 3月31日	契約状況（年度末時点） <table><tr><td>基本契約</td><td colspan="4">福祉サービス利用援助</td><td rowspan="2">合計</td></tr><tr><td>付加契約</td><td>日常的金銭管理</td><td>書類預り</td><td>日常的金銭管理 書類預り</td><td>なし (基本契約のみ)</td></tr><tr><td>認知症等高齢者</td><td>10</td><td>0</td><td>6</td><td>0</td><td>16</td></tr><tr><td>身体障がい者</td><td>4</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>5</td></tr><tr><td>知的障がい者</td><td>9</td><td>0</td><td>5</td><td>0</td><td>14</td></tr><tr><td>精神障がい者</td><td>9</td><td>0</td><td>5</td><td>0</td><td>14</td></tr><tr><td>合 計</td><td>32</td><td>0</td><td>17</td><td>0</td><td>49</td></tr></table> 年度中の新規契約者数：28名 年度中の解約者数：8名					基本契約	福祉サービス利用援助				合計	付加契約	日常的金銭管理	書類預り	日常的金銭管理 書類預り	なし (基本契約のみ)	認知症等高齢者	10	0	6	0	16	身体障がい者	4	0	1	0	5	知的障がい者	9	0	5	0	14	精神障がい者	9	0	5	0	14	合 計	32	0	17	0	49
基本契約	福祉サービス利用援助				合計																																										
付加契約	日常的金銭管理	書類預り	日常的金銭管理 書類預り	なし (基本契約のみ)																																											
認知症等高齢者	10	0	6	0	16																																										
身体障がい者	4	0	1	0	5																																										
知的障がい者	9	0	5	0	14																																										
精神障がい者	9	0	5	0	14																																										
合 計	32	0	17	0	49																																										
相談状況	4月1日 ～ 3月31日	相談対応件数：1,997件																																													

生活支援員連絡会	9月4日	(1) 生活支援員の就業の見直しについて (2) 交通安全動画視聴による交通安全の啓発
----------	------	--

15【法人後見事業】

令和7年度における事業成果

本協議会を後見人等候補者として、市長による法人後見受任依頼があったことに伴い、事務局内で会議を開催し、受任判定をしました。

事業名等	期 日	内 容 等
法人後見事業 受任判定会議	① 6月3日	<議題> (1) 法人後見の受任について (2件) 出席者：事務局長、権利擁護係職員 (6名)
	② 10月6日	<議題> (1) 法人後見の受任について (1件) 出席者：事務局長、権利擁護係職員 (6名)
	③ 1月28日	<議題> (1) 法人後見の受任について (1件) 出席者：事務局長、権利擁護係職員 (6名)
	④ 3月3日	<議題> (1) 法人後見の受任について (1件) 出席者：事務局長、権利擁護係職員 (6名)
受任件数	3月31日 現 在	後見 6件 保佐 3件 補助 2件

16【成年後見制度中核機関運営業務】

令和7年度における事業成果

成年後見制度中核機関として「おだわら成年後見支援センターTOMONI (ともに)」を市から受託運営しました。

諸事業の推進に伴い、5士業（弁護士・司法書士・社会福祉士・行政書士・税理士）や関係機関・団体及び横浜家庭裁判所小田原支部（小田原家裁）との連携が強化されました。

事業名等	内 容 等
広報機能 (普及・啓発)	<チラシ作成> 講演会及び定期相談会の開催に関する内容で3回作成 1回目→ 9月発行・11月の講演会&相談会の案内 2回目→ 4・9月発行・成年後見制度定期相談会の案内 配布先→ 地域団体、専門機関、小田原家裁、金融機関、市内総合病院、行政、障がい・高齢者施設、地域包括支援センターなど窓口での配架依頼 <ホームページ運営>

相談機能 (権利擁護相談)	＜通常相談＞ 次のような相談に対応（表中の数字は下記の定期相談会での対応件数も含む）			
	主な相談			件数
	法定後見の仕組み、申立ての進め方や具体的な事例を伴う問い合わせ			94
	任意後見の仕組み、手続方法や具体的な事例を伴う問い合わせ			12
	制度一般、中核機関としての機能等に関する問い合わせ等			5
	その他（制度以外・相続に関する内容等）			4
	合 計			115
＜定期相談会＞ コスモス成年後見サポートセンター神奈川県支部小田原西地区との共催 偶数月の第2水曜日・1回につき相談受付定員6名（件）				
利用促進機能 (市民後見人の養成等)	＜市民後見人候補者名簿登録者（第1期及び2期生合計9名）フォローアップ＞			
	期 日	内 容	参加状況	
	①11月7日	成年後見制度講演会・相談会 (フォローアップ研修としても位置付け)	8名	1期生4名 2期生4名
	②2月20日	多職種交流会への参加	8名	1期生4名 2期生4名
後見人等支援機能 (地域連携ネットワーク関係)	＜地域連携ネットワーク会議＞			
	期 日	参 加 者	内 容	
	①8月6日	弁護士・司法書士 社会福祉士・行政書士 税理士・地域包括支援センター 基幹相談支援センター・小田原警察署生活安全課 消費生活センター・医療ソーシャルワーカー 市関係部署	(1) 成年後見制度見直しの法制審議会の動向について（報告） (2) 後見人等が選任されるまで支援体制について（情報交換）	
	②2月3日	上記の他に ※横浜家庭裁判所 小田原支部後見開始係 (オブザーバー参加)	(1) 地域連携ネットワーク会議の開催方法について（協議） (2) 認知症の方の車や自転車の運転について（情報交換） (3) 本市の成年後見人等の受任状況について（情報交換） (4) 市民後見人の受任の仕組みづくり（提案）	
	＜多職種交流会＞			
	期 日	参 加 者	内 容	
	2月20日	弁護士・司法書士 社会福祉士・行政書士 税理士・社会保険労務士 医療ソーシャルワーカー・ケアネットOHMY 法テラス 市民後見人候補者名簿登録者 地域包括支援センター・市高齢介護課	ワールドカフェ形式での話し合いを通して、さまざまな職種・団体の人と顔の見える関係を構築 【参加者】69名	

後見人等支援機能 (地域連携ネットワーク関係)	2月20日	弁護士・司法書士 社会福祉士・行政書士 税理士・社会保険労務士 監事・リカー・ケアネットOHMY 法テラス 市民後見人候補者名簿登録者 地域福祉センター・市高齢介護課	【テーマ】 「既存の制度の対象にはならない元気な高齢者(75歳・男性)、生涯未婚で一人暮らし(家族や親族はいない)、自治会未加入で近所付き合いも希薄、経済的には困窮していない」という人物像の不安要件(予想)及びそれを解決するための社会資源について
	＜上記以外の連携＞		
	期 間	連 携 先	内 容
	11月～	法テラス	指定相談場所の設置(毎月1回) ※市社協相談支援担当との協働
	通 年	横浜家庭裁判所小田原支部	意見交換・申立てセットの取り扱い

17【共同募金運動】

令和7年度における事業成果

共同募金会小田原市支会委員会の事務局として、10月1日から3月31日まで共同募金運動を実施しました。実績額は目標額を351万円ほど下回る結果となりました。また、年末たすけあい義援金を本協議会から以下のとおり配分しました。

事業名等	期 日	内 容 等					
共同募金運動	10月1日～3月31日	(1)募金目標額と実績額					
	募金種別等	共同募金		内 訳			
				赤い羽根分		年末たすけあい分	
		目標額	実績額	目標額	実績額	目標額	実績額
	戸別募金	23,585,000	20,772,884	14,264,000	12,512,261	9,321,000	8,260,623
	街頭募金	1,025,000	686,080	977,000	654,057	48,000	32,023
	法人募金	1,483,000	1,121,000	1,483,000	1,121,000	—	—
	職域募金	80,000	86,256	80,000	86,256	—	—
	校内募金	292,000	196,852	292,000	196,852	—	—
	イベント募金	314,000	199,032	264,000	154,334	50,000	44,698
	その他募金	1,061,000	1,265,969	880,000	861,178	181,000	404,791
	合 計	27,840,000	24,328,073	18,240,000	15,585,938	9,600,000	8,742,135
	達成率	—	87.39%	—	85.45%	—	91.06%

共同募金運動

(2)年末たすけあい義援金配分額			
配分先等		配分額(円)	対象数
社会福祉団体等 支 援 事 業	子育てサークル	599,000	30
	私設保育施設	30,000	1
	児童・障がい・高齢者福祉団体	840,000	42
	福祉関係団体	560,000	6
地域活動支援センター支援事業		350,000	7
地 域 福 祉 事 業	地区社協事業助成費①年末年始事業	1,278,000	26
	②見守り活動(年間事業)	3,500,000	26
	ボランティア活動推進事業	800,000	—
	家族介護者支援事業	256,428	—
父子家庭援護事業費(図書カード贈呈)		270,000	54
生活困窮者支援事業		39,852	—
福祉機器購入費		130,560	
運営事務費		88,295	—
合 計		8,742,135	—

18【各種関係団体事業への協力】

事業名等	期 日	内 容 等
福祉活動助成 (年末たすけあい義援金配分事業)	6月10日 (交付日)	小田原市遺族会に事業費の助成

19【法外援護等事業】

事業名等	期 日	内 容 等
災害見舞金の支給	4月1日 ～ 3月31日	8件支給
行旅病人扶助事業		支給なし
行旅困窮者旅費 支給事業		現金支給 25件支給

20【苦情解決の取り組み】

事業名等	期 日	内 容 等
苦情解決相談受付	4月1日 ～ 3月31日	第三者委員の関与を要する案件 0件 第三者委員の関与を要しない案件 7件 対応済み (いずれも介護サービスセンター)

2 1 【介護サービスセンター事業】

令和7年度における事業成果

介護サービスセンターにおける「成長・拡大」と「サービスの質の向上」のため、令和7年度を始期とした中期経営計画（3か年計画）に定めた事業目標の実現に向けた具体的な取り組みをスタートしました。同センターでは、深刻化する介護人材の不足、関連事業所における事業廃止、物価高騰など、外部環境の変化に適応し、長期的な競争力を維持できるよう、職員が一体となり「経営意識の高揚」と「サービス提供の充実」を図りました。

[各実施事業の成果]（抜粋）

(1) 訪問介護事業	【延利用者数】 681名（前年度比＋24名） 【延活動時間数】 6,505.0時間（前年度比＋260.5時間） 【延派遣回数】 6,444回（前年度比＋273回）
(2) 介護予防・日常生活支援総合事業 ① 国基準訪問型サービス	【延利用者数】 662名（前年度比＋79名） 【延活動時間数】 3,301.5時間（前年度比＋372.5時間） 【延派遣回数】 3,325回（前年度比＋396回）
② 基準緩和訪問型サービス	【延利用者数】 12名（前年度比－7名） 【延活動時間数】 51.0時間（前年度比－27.0時間） 【延派遣回数】 51回（前年度比－27回）
(3) 障害福祉サービス事業 ① 居宅介護事業	【延利用者数】 456名（前年度比－45名） 【延活動時間数】 4,566.00時間（前年度比－92.00時間） 【延派遣回数】 3,490回（前年度比＋342回）
② 同行援護事業	【延利用者数】 285名（前年度比＋17名） 【延活動時間数】 4,581.00時間（前年度比＋234.50時間） 【延派遣回数】 1,521回（前年度比＋30回）
③ 移動支援事業	【延利用者数】 247名（前年度比＋44名） 【延活動時間数】 2,426.50時間（前年度比＋397.50時間） 【延派遣回数】 861回（前年度比＋147回）
(4) 自主契約ホームヘルパー派遣事業	【延利用者数】 185名（前年度比＋12名） 【延活動時間数】 1,206.50時間（前年度比－8.50時間） 【延派遣回数】 1,218回（前年度比－43回）
(5) 全体研修	【平均出席率】 登録ヘルパー 93.8% サービス提供責任者等 100.0% 【平均理解度】 とても理解できた 52.0% 理解できた 47.7% あまり理解できなかった 0.3%
(6) 個人別研修	【平均出席率】 登録ヘルパー 98.0% サービス提供責任者 100.0% 【平均理解度】 理解できた 58.4% 少し理解できた 41.6%

事業名等	内容等																																															
(1) 訪問介護事業	〈事業内容〉 身体介護（例：入浴、排泄、食事介助、移乗等） 生活援助（例：掃除、洗濯、調理、買い物等） 〈延利用者数〉（単位；名） <table><tr><td></td><td>年間</td><td>月平均</td></tr><tr><td>延利用者数</td><td>681</td><td>57</td></tr></table> 〈延活動時間数〉（単位；時間） <table><tr><td>サービス別</td><td>年間</td><td>月平均</td><td>割合</td></tr><tr><td>身体介護</td><td>1,742.00</td><td>145.17</td><td>26.78%</td></tr><tr><td>生活援助</td><td>1,012.50</td><td>84.38</td><td>15.56%</td></tr><tr><td>身体生活</td><td>3,750.50</td><td>312.54</td><td>57.66%</td></tr><tr><td>計</td><td>6,505.00</td><td>542.08</td><td>100.00%</td></tr></table> 〈ヘルパー派遣人数〉（単位；名） <table><tr><td></td><td>年間</td><td>月平均</td></tr><tr><td>ヘルパー派遣人数</td><td>387</td><td>32</td></tr></table> 〈延派遣回数〉（単位；回） <table><tr><td>サービス別</td><td>年間</td><td>月平均</td></tr><tr><td>身体介護</td><td>2,054</td><td>171</td></tr><tr><td>生活援助</td><td>1,238</td><td>103</td></tr><tr><td>身体生活</td><td>3,152</td><td>263</td></tr><tr><td>計</td><td>6,444</td><td>537</td></tr></table>		年間	月平均	延利用者数	681	57	サービス別	年間	月平均	割合	身体介護	1,742.00	145.17	26.78%	生活援助	1,012.50	84.38	15.56%	身体生活	3,750.50	312.54	57.66%	計	6,505.00	542.08	100.00%		年間	月平均	ヘルパー派遣人数	387	32	サービス別	年間	月平均	身体介護	2,054	171	生活援助	1,238	103	身体生活	3,152	263	計	6,444	537
		年間	月平均																																													
	延利用者数	681	57																																													
	サービス別	年間	月平均	割合																																												
	身体介護	1,742.00	145.17	26.78%																																												
	生活援助	1,012.50	84.38	15.56%																																												
	身体生活	3,750.50	312.54	57.66%																																												
	計	6,505.00	542.08	100.00%																																												
		年間	月平均																																													
	ヘルパー派遣人数	387	32																																													
サービス別	年間	月平均																																														
身体介護	2,054	171																																														
生活援助	1,238	103																																														
身体生活	3,152	263																																														
計	6,444	537																																														
(2) 介護予防・日常生活支援総合事業 ① 国基準訪問型サービス	〈事業内容〉 (1)訪問介護事業を参照 〈延利用者数〉（単位；名） <table><tr><td></td><td>年間</td><td>月平均</td></tr><tr><td>延利用者数</td><td>662</td><td>55</td></tr></table> 〈延活動時間数〉（単位；時間） <table><tr><td>サービス別</td><td>年間</td><td>月平均</td><td>割合</td></tr><tr><td>身体介護</td><td>399.50</td><td>33.29</td><td>12.10%</td></tr><tr><td>生活援助</td><td>2,902.00</td><td>241.83</td><td>87.90%</td></tr><tr><td>身体生活</td><td>0.00</td><td>0.00</td><td>0.00%</td></tr><tr><td>計</td><td>3,301.50</td><td>275.13</td><td>100.00%</td></tr></table> 〈派遣人数〉（単位；名） <table><tr><td></td><td>年間</td><td>月平均</td></tr><tr><td>ヘルパー派遣人数</td><td>324</td><td>27</td></tr></table> 〈延派遣回数〉（単位；回） <table><tr><td>サービス別</td><td>年間</td><td>月平均</td></tr><tr><td>身体介護</td><td>403</td><td>34</td></tr><tr><td>生活援助</td><td>2,922</td><td>244</td></tr><tr><td>身体生活</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>3,325</td><td>277.08</td></tr></table>		年間	月平均	延利用者数	662	55	サービス別	年間	月平均	割合	身体介護	399.50	33.29	12.10%	生活援助	2,902.00	241.83	87.90%	身体生活	0.00	0.00	0.00%	計	3,301.50	275.13	100.00%		年間	月平均	ヘルパー派遣人数	324	27	サービス別	年間	月平均	身体介護	403	34	生活援助	2,922	244	身体生活	0	0	計	3,325	277.08
		年間	月平均																																													
	延利用者数	662	55																																													
	サービス別	年間	月平均	割合																																												
	身体介護	399.50	33.29	12.10%																																												
	生活援助	2,902.00	241.83	87.90%																																												
	身体生活	0.00	0.00	0.00%																																												
	計	3,301.50	275.13	100.00%																																												
		年間	月平均																																													
	ヘルパー派遣人数	324	27																																													
サービス別	年間	月平均																																														
身体介護	403	34																																														
生活援助	2,922	244																																														
身体生活	0	0																																														
計	3,325	277.08																																														

事業名等	内容等																																																						
(2) 介護予防・日常生活支援総合事業 ② 基準緩和訪問型サービス	〈事業内容〉生活援助（例：掃除、洗濯、調理、買い物等） 〈延利用者数〉（単位；名） <table><tr><td></td><td>年間</td><td>月平均</td></tr><tr><td>延利用者数</td><td>12</td><td>1</td></tr></table> 〈延活動時間数〉（単位；時間） <table><tr><td>サービス別</td><td>年間</td><td>月平均</td><td>割合</td></tr><tr><td>生活援助</td><td>51.00</td><td>4.25</td><td>100.00%</td></tr></table> 〈派遣人数〉（単位；名） <table><tr><td></td><td>年間</td><td>月平均</td></tr><tr><td>ヘルパー派遣人数</td><td>13</td><td>1</td></tr></table> 〈延派遣回数〉（単位；回） <table><tr><td>サービス別</td><td>年間</td><td>月平均</td></tr><tr><td>生活援助</td><td>51</td><td>4.25</td></tr></table>		年間	月平均	延利用者数	12	1	サービス別	年間	月平均	割合	生活援助	51.00	4.25	100.00%		年間	月平均	ヘルパー派遣人数	13	1	サービス別	年間	月平均	生活援助	51	4.25																												
		年間	月平均																																																				
	延利用者数	12	1																																																				
	サービス別	年間	月平均	割合																																																			
	生活援助	51.00	4.25	100.00%																																																			
		年間	月平均																																																				
	ヘルパー派遣人数	13	1																																																				
	サービス別	年間	月平均																																																				
	生活援助	51	4.25																																																				
	(3) 障害福祉サービス事業 ① 居宅介護事業	〈事業内容〉身体介護（例：入浴、排泄、食事介助、移乗等） 家事援助（例：掃除、洗濯、調理、買い物等） 通院介助(1)（身体介護を伴う） 通院介助(2)（身体介護を伴わない） 〈延利用者数〉（単位；名） <table><tr><td></td><td>年間</td><td>月平均</td></tr><tr><td>延利用者数</td><td>456</td><td>38</td></tr></table> 〈延活動時間数〉（単位；時間） <table><tr><td>サービス別</td><td>年間</td><td>月平均</td><td>割合</td></tr><tr><td>身体介護</td><td>596.00</td><td>49.67</td><td>13.05%</td></tr><tr><td>家事援助</td><td>3,808.50</td><td>317.38</td><td>83.41%</td></tr><tr><td>通院介助(1)</td><td>156.00</td><td>13.00</td><td>3.42%</td></tr><tr><td>通院介助(2)</td><td>5.50</td><td>0.46</td><td>0.12%</td></tr><tr><td>計</td><td>4,566.00</td><td>380.50</td><td>100.00%</td></tr></table> 〈ヘルパー派遣人数〉（単位；名） <table><tr><td></td><td>年間</td><td>月平均</td></tr><tr><td>ヘルパー派遣人数</td><td>292</td><td>24</td></tr></table> 〈延派遣回数〉（単位；回） <table><tr><td>サービス別</td><td>年間</td><td>月平均</td></tr><tr><td>身体介護</td><td>464</td><td>38.67</td></tr><tr><td>生活援助</td><td>2,963</td><td>246.92</td></tr><tr><td>通院介助(1)</td><td>61</td><td>5.08</td></tr><tr><td>通院介助(2)</td><td>2</td><td>0.17</td></tr><tr><td>計</td><td>3,490</td><td>290.83</td></tr></table>		年間	月平均	延利用者数	456	38	サービス別	年間	月平均	割合	身体介護	596.00	49.67	13.05%	家事援助	3,808.50	317.38	83.41%	通院介助(1)	156.00	13.00	3.42%	通院介助(2)	5.50	0.46	0.12%	計	4,566.00	380.50	100.00%		年間	月平均	ヘルパー派遣人数	292	24	サービス別	年間	月平均	身体介護	464	38.67	生活援助	2,963	246.92	通院介助(1)	61	5.08	通院介助(2)	2	0.17	計	3,490
		年間	月平均																																																				
延利用者数		456	38																																																				
サービス別		年間	月平均	割合																																																			
身体介護		596.00	49.67	13.05%																																																			
家事援助		3,808.50	317.38	83.41%																																																			
通院介助(1)		156.00	13.00	3.42%																																																			
通院介助(2)		5.50	0.46	0.12%																																																			
計		4,566.00	380.50	100.00%																																																			
		年間	月平均																																																				
ヘルパー派遣人数		292	24																																																				
サービス別		年間	月平均																																																				
身体介護		464	38.67																																																				
生活援助		2,963	246.92																																																				
通院介助(1)		61	5.08																																																				
通院介助(2)		2	0.17																																																				
計		3,490	290.83																																																				

事業名等	内容等																
(3) 障害福祉サービス事業 ② 同行援護事業	〈事業内容〉 同行援護（視覚障害者の外出を安全に支援するサービス）																
	〈延利用者数〉（単位；名）																
	<table><tr><th></th><th>年間</th><th>月平均</th></tr><tr><td>延利用者数</td><td>285</td><td>24</td></tr></table>		年間	月平均	延利用者数	285	24										
		年間	月平均														
	延利用者数	285	24														
	〈延活動時間数〉（単位；時間）																
	<table><tr><th>サービス別</th><th>年間</th><th>月平均</th><th>割合</th></tr><tr><td>同行援護</td><td>4,581.00</td><td>381.75</td><td>100.00%</td></tr></table>	サービス別	年間	月平均	割合	同行援護	4,581.00	381.75	100.00%								
	サービス別	年間	月平均	割合													
	同行援護	4,581.00	381.75	100.00%													
	〈派遣人数〉（単位；名）																
<table><tr><th></th><th>年間</th><th>月平均</th></tr><tr><td>ヘルパー派遣人数</td><td>195</td><td>16</td></tr></table>		年間	月平均	ヘルパー派遣人数	195	16											
	年間	月平均															
ヘルパー派遣人数	195	16															
〈延派遣回数〉（単位；回）																	
<table><tr><th>サービス別</th><th>年間</th><th>月平均</th></tr><tr><td>同行援護</td><td>1,521</td><td>126.75</td></tr></table>	サービス別	年間	月平均	同行援護	1,521	126.75											
サービス別	年間	月平均															
同行援護	1,521	126.75															
(3) 障害福祉サービス事業 ③ 移動支援事業	〈事業内容〉 移動支援(1)（身体介護を伴う） 移動支援(2)（身体介護を伴わない）																
	〈延利用者数〉（単位；名）																
	<table><tr><th></th><th>年間</th><th>月平均</th></tr><tr><td>延利用者数</td><td>247</td><td>21</td></tr></table>		年間	月平均	延利用者数	247	21										
		年間	月平均														
	延利用者数	247	21														
	〈延活動時間数〉（単位；時間）																
	<table><tr><th>サービス別</th><th>年間</th><th>月平均</th><th>割合</th></tr><tr><td>移動支援(1)</td><td>2,301.00</td><td>191.75</td><td>94.83%</td></tr><tr><td>移動支援(2)</td><td>125.5</td><td>10.46</td><td>5.17%</td></tr><tr><td>計</td><td>2,426.50</td><td>202.21</td><td>100.00%</td></tr></table>	サービス別	年間	月平均	割合	移動支援(1)	2,301.00	191.75	94.83%	移動支援(2)	125.5	10.46	5.17%	計	2,426.50	202.21	100.00%
	サービス別	年間	月平均	割合													
	移動支援(1)	2,301.00	191.75	94.83%													
	移動支援(2)	125.5	10.46	5.17%													
計	2,426.50	202.21	100.00%														
〈ヘルパー派遣人数〉（単位；名）																	
<table><tr><th></th><th>年間</th><th>月平均</th></tr><tr><td>ヘルパー派遣人数</td><td>188</td><td>16</td></tr></table>		年間	月平均	ヘルパー派遣人数	188	16											
	年間	月平均															
ヘルパー派遣人数	188	16															
〈延派遣回数〉（単位；回）																	
<table><tr><th>サービス別</th><th>年間</th><th>月平均</th></tr><tr><td>移動支援(1)</td><td>803</td><td>66.92</td></tr><tr><td>移動支援(2)</td><td>58</td><td>4.83</td></tr><tr><td>計</td><td>861</td><td>71.75</td></tr></table>	サービス別	年間	月平均	移動支援(1)	803	66.92	移動支援(2)	58	4.83	計	861	71.75					
サービス別	年間	月平均															
移動支援(1)	803	66.92															
移動支援(2)	58	4.83															
計	861	71.75															

事業名等	内容等			
(4) 自主契約ホーム ヘルパー派遣事業	〈事業内容〉(1)訪問介護事業を参照			
	〈延利用者数〉(単位；名)			
		年間	月平均	
	延利用者数	185	15	
	〈延活動時間数〉(単位；時間)			
	サービス別	年間	月平均	割合
	身体介護	517.00	43.08	42.85%
	家事援助	689.50	57.46	57.15%
	計	1,206.50	100.54	100.00%
	〈派遣人数〉(単位；名)			
		年間	月平均	
	ヘルパー派遣人数	185	15	
	〈延派遣回数〉(単位；回)			
サービス別	年間	月平均		
身体介護	578	48.17		
生活援助	640	53.33		
計	1,218	101.50		

事業名等	期日	研修テーマ（担当講師）	会議案件数	出席者数
全体研修及び 定例会議	4月15・21日	業務マニュアルの理解 (サ責；中林文乃)	6件	37名
	5月14・21日	認知症と認知症ケア (サ責；辻 雅美)	5件	37名
	6月10・25日	感染症・食中毒予防 (サ責；竹内さおり)	5件	38名
	7月15・25日	倫理と法令遵守 (管理者；原 秀人)	6件	36名
	8月12・21日	プライバシー保護の取組 (サ責；松本真由子)	6件	39名
	9月16・22日	虐待防止・身体拘束防止 (管理者；原 秀人)	4件	40名
	10月14・24日	訪問介護の危険予知訓練 (管理者；原 秀人)	7件	39名
	11月11・20日	緊急時の対応 (管理者；原 秀人)	4件	39名
	12月16・24日	接遇 (サ責；杉崎英子)	4件	36名
	1月13・19日	ハラスメント防止 (管理者；原 秀人)	3件	38名
	2月10・19日	業務継続計画 (管理者；原 秀人)	2件	36名
	3月10・16日	消費者被害の現状と対応 (市消費生活相談員)	4件	36名

事業名等	期日	研修テーマ（担当講師）	出席者数
個人別研修 （登録ヘルパー）	5月14・21日	第1回 介護保険制度 （管理者；原 秀人）	12名
	7月15・25日	第1回 成年後見制度 （管理者；原 秀人）	11名
	9月16・22日	第1回 地域包括ケアシステム （管理者；原 秀人）	7名
	11月11・20日	第2回 介護保険制度 （管理者；原 秀人）	12名
	1月13・19日	第2回 成年後見制度 （管理者；原 秀人）	11名
	3月10・16日	第2回 地域包括ケアシステム （管理者；原 秀人）	7名
個人別研修 （サービス提供責任者）	7月23日	訪問介護における「営業活動」 （管理者；原 秀人）	5名
	1月21日	中期経営計画「事業所の数字」の理解 （管理者；原 秀人）	5名

事業名等	期日	内容等	出席者数
業務継続計画に係る訓練	5月28日	感染症（机上訓練、ロールプレイ、連携訓練）	8名
	9月24日	自然災害（机上訓練、ロールプレイ、連携訓練）	7名
	11月17日	感染症（机上訓練、ロールプレイ）	6名
虐待防止委員会 （法定委員会）	4月23日	第1回会議	7名
	7月28日	第2回会議	5名
	10月11日	第3回会議	6名
	1月22日	第4回会議	6名
感染症対策委員会 （法定委員会）	4月23日	第1回会議	7名
	7月28日	第2回会議	5名
	10月11日	第3回会議	6名
	1月22日	第4回会議	6名

事業名等	内容等	
訪問介護サービス利用満足度調査	調査期間	9月11日～10月31日
	調査対象	6月1日時点において、当該事業利用者のうち、「要介護1以上」かつ「1カ月以上の利用実績」のある人
	回収率	100%（調査対象者数：54名）
	総合満足度	96%（前年度比 -3ポイント）
訪問介護事業所職員満足度調査	調査期間	9月16日～30日
	調査対象	8月15日現在、本会訪問介護事業所の非常勤ホームヘルパーとしての活動実績を有する人
	回収率	100%（調査対象者数：31名）
	総合満足度	89%（前年度比 +6ポイント）

事業名等	内容等	
人材確保や利用者確保のための取組 ① カスタマーハラスメント研修 (県補助金活用事業)【再掲】	期日	12月11日
	講師	古江一輝氏(かながわ介護社労士事務所 代表/社会保険労務士)
	出席者数	10名(訪問介護事業所職員のみ掲載)
② 各種広報宣材の作成 (県補助金活用事業)	品目数	9種類
	具体名	大型表示、ミニのぼり、コルクコースター、マグネットバー、ボールペン、アクリルキーホルダー、車両用マグネットシート、メモ用紙、クリアファイル
③ イベント出展等によるPR	期日	3月8日
	出展事業名	社協さんちの井戸端会議(本会主催)
	出展内容	介護に関するクイズ、啓発品配布
	参加者数	110名(イベント総来場者数:270名)

事業名等	内容等		
経営管理の最適化に向けた取組 ① 介護サービスセンター運営会議 【再掲】	期日	12 月 10 日	
	出席者数	計 16 名（委員 12 名・事務局 4 名）	
② 中期経営計画進捗状況共有会議	第 1 回	期日	6 月 23 日
		出席者数	8 名
	第 2 回	期日	9 月 29 日
		出席者数	8 名
	第 3 回	期日	12 月 22 日
		出席者数	8 名
	第 4 回	期日	3 月 17 日
		出席者数	8 名

事業名等	内容等	
その他 第72回神奈川県社会福祉大会に おける受賞	期日	11月14日
	表彰区分	神奈川県社会福祉関係者等表彰
	受賞者数	2名(登録ヘルパー)

【参考】

データ名	区 分		件数(割合)
相談・問合せ受理件数	合計		105件(100.0%)
	相談手段	電話	95件(90.5%)
		電話以外	10件(9.5%)
	相談経路	居宅介護支援事業所	48件(45.7%)
		相談支援事業所	20件(19.0%)
		地域包括支援センター	30件(28.6%)
		本人・家族・その他	7件(6.7%)

データ名	区 分		件数 (割合)
苦情・要望等受理件数 (※いずれも第三者委員への報告を要しない内容)	合計		7 件 (100.0%)
	申立手段	電話	4 件 (57.1%)
		文書	2 件 (28.6%)
		その他	1 件 (14.3%)
	申立人	本人	1 件 (14.3%)
		家族	5 件 (71.4%)
		その他	1 件 (14.3%)
	申立内容	サービス内容	2 件 (28.6%)
		サービス提供	5 件 (71.4%)
	要望内容等	改善してほしい	5 件 (71.4%)
		回答してほしい	1 件 (14.3%)
		提言	1 件 (14.3%)

データ名	区 分		人数 (割合)
利用者の状況 (2月28日時点)	利用契約者数		計 203 名 (100.0%)
	年代	未成年	0 名 (0.0%)
		20 歳代	3 名 (1.5%)
		30 歳代	8 名 (3.9%)
		40 歳代	9 名 (4.4%)
		50 歳代	22 名 (10.8%)
		60 歳代	23 名 (11.3%)
		70 歳代	47 名 (23.2%)
		80 歳代	65 名 (32.1%)
		90 歳代	25 名 (12.3%)
		100 歳以上	1 名 (0.5%)
	高齢者等の割合	65 歳未満	51 名 (25.1%)
		65 歳以上	152 名 (74.9%)
	世帯構成	独居	108 名 (53.2%)
		高齢者のみ	24 名 (11.8%)
		子・親族等と同居	50 名 (24.6%)
		その他 (入所等)	21 名 (10.4%)
	介護度等	未審査 (未認定)	72 名 (35.5%)
		事業対象者	3 名 (1.5%)
		要支援 1	24 名 (11.8%)
		要支援 2	43 名 (21.2%)
		要介護 1	34 名 (16.7%)
		要介護 2	16 名 (7.9%)
		要介護 3	6 名 (2.9%)
		要介護 4	4 名 (2.0%)
		要介護 5	1 名 (0.5%)

データ名	サービス種別		職種・人数
サービス提供体制 (3月31日時点)	介護保険	訪問介護	(1) 管理者 常勤 1名
		国基準訪問型サービス	(2) サービス提供責任者 常勤 5名
		基準緩和訪問型サービス	(3) ホームヘルパー 非常勤 32名
	障害福祉	居宅介護	(4) 事務員 常勤 1名
		同行援護	非常勤 3名
		移動支援	
	独自事業	自主契約ホームヘルパー派遣	

事業名等	内容等														
ホームヘルパー 登録状況 (3月31日時点)	登録者数	計 32 名													
	平均勤続年数	19.04 年（25 年以上：全体の 43.75％）													
	平均年齢	71.4 歳（最年少：53 歳／最高齢：86 歳）													
	保有資格別	介護福祉士国家資格												12 名	
		実務者研修／ホームヘルパー1 級												1 名	
		初任者研修／ホームヘルパー2 級												19 名	
		同行援護従事者養成研修一般課程												14 名	
	年代別	50 歳代												3 名	
		60 歳代												5 名	
		70 歳代												23 名	
		80 歳代												1 名	
	居住地区別	緑	新玉	万年	幸	嵯峨	十字	大窪	早川	片浦					
		1	—	1	—	—	—	2	—	—					
		足柄	芦子	二川	久野	東富水	富水	桜井	下府中	豊川					
		3	1	1	2	2	1	1	2	2					
		上府中	下曾我	曾我	国府津	酒匂	富士見	前羽	下中	市外					
4		2	1	3	—	1	1	—	1						
入退職状況 (月別)	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	入職	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1		
	退職	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—		

事業指定状況一覧	区分	サービス種別	事業者番号	指定権者
事業指定状況一覧	介護保険	訪問介護	1472300076	神奈川県
		国基準訪問型サービス		小田原市
		基準緩和訪問型サービス		
	障害福祉	居宅介護	1412300236	神奈川県
		同行援護		小田原市
		移動支援	1462300094	

22【その他】

事業名等	期 日	内 容 等		
生活困窮者支援事業 (年末たすけあい義援金配分事業)	4 月 1 日 ～ 3 月 31 日	生活困窮者へ、長期保存食糧 3 日間分のセットを配布 配布者数：延べ43名 配布数： 22セット		
企業による寄付金の 配分事業	6 月 30 日 (寄付日)	生活協同組合ユーコープ・かながわ県本部からの「2024 年書き損じはがき寄付活動」による寄付金を、神奈川県社会福祉協議会を通じて受領したもの。 使途指定：子どもの貧困、学習支援活動を行う団体への支援 寄付額：134,000円 配分先：小田原市母子寡婦福祉会 NPO 法人子どもと生活文化協会		
食料提供に係る支援	4 月 1 日 ～ 3 月 31 日 (18回開催)	小田原市母子寡婦福祉会が主催する食品配布会（報徳食品支援センター等から食料提供）の運営に協力（本協議会に寄せられた食料品等の寄付品をあわせて提供） 配布世帯：ひとり親世帯等 延べ 671 世帯／1,817 名		
職員の講師派遣等	本会職員への講師派遣依頼等に基づき、職員を派遣しました。			
	日にち	研修等名	対象・派遣先	派遣職員
	4 月 7 日	小田原市役所新採用職員研修会	小田原市役所新採用職員	栗田知征
	4 月 15 日	厚木市社協職員研修	厚木市社会福祉協議会	栗田知征
	4 月 21 日 5 月 12 日	社会福祉と社会保障	おだわら看護専門学校	栗田知征
	4 月 24 日	災害派遣活動の思いを語る会	県内社会福祉協議会職員	栗田知征
	5 月 13 日	基礎演習	上智大学	小澤紗希
	5 月 16 日	災害ボランティアセンターについて	桜井地区広域避難所運営委員会	遠藤貴文 山田菊代 村田亮太
	7 月 16 日	地域福祉論	立教大学	谷川祐子
	8 月 25 日	地域・在宅看護論Ⅰ	おだわら看護専門学校	栗田知征
	9 月 25 日	小田原市役所関係機関との相互研修	小田原市役所職員	谷川祐子 栗田知征
	9 月 30 日	むらカフェ	しもふなか圏域ケアマネジャー等	栗田知征
	10 月 17 日	災害ボランティア講演会	豊川地区まちづくり委員会	栗田知征
	11 月 7 日	いっせい防災訓練	鴨宮中学校広域避難所	栗田知征

職員の講師派遣等	11月21日	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	神奈川県立保健福祉大学	栗田知征
	12月1日	小田原市役所職員研修会	小田原市役所職員	栗田知征
	12月17日	スーパーバイザー研修	神奈川県社会福祉協議会	栗田知征
	1月26日	地域・在宅看護概論Ⅰ	積善会看護専門学校	栗田知征 石井孝代 齊藤由姫 坂本裕衣
	2月6日	小田原市手話奉仕員養成講座「ボランティア活動」について	小田原市障がい福祉課	山田菊代
視察の受入	①遠藤地区ボランティアセンターの活動について ②小田原市における生活応援隊活動の概要について ③小田原市久野地区の生活支援サービス活動について ④意見交換			
	11月6日	藤沢市遠藤地区ボランティアセンター視察研修会		
	11月20日	海外研究者を伴う視察の受入 「災害と地域福祉、コミュニティワーク」 立教大学教授 ドイツ・プレーメン応用科学大学教授	①社会福祉協議会、災害ボランティアセンター、小田原市についての講義 ②社会福祉法人の災害時対応についてインタビュー（ほうあんふじみのさと） ③過去の被災地域の視察	
		協力 社会福祉法人宝安寺社会事業部 大水理事長 上田施設長		

2 3 【法人の運営状況】

(1) 評議員の状況（令和7年度末現在）

No.	氏 名	選任年月日	他法人・団体の役員との兼職状況	職 業
1	堀内 貞治	令和7年 6月13日	小田原市自治会総連合副会長	無職
2	脇 昌丈	令和7年 6月13日	小田原市自治会総連合理事	無職
3	山室 秀子	令和7年12月18日	小田原市民生委員児童委員協議会副会長	無職
4	清藤 秀子	令和7年12月18日	小田原市民生委員児童委員協議会監事	無職
5	松下 岳	令和7年 6月13日	緑地区社会福祉協議会会長	自営業
6	池田 尚文	令和7年 6月13日	新玉地区社会福祉協議会会長	自営業
7	宮本 純	令和7年 6月13日	万年地区社会福祉協議会会長	無職
8	栗山 茂男	令和7年 6月13日	幸地区社会福祉協議会会長	無職
9	岩田 隆一	令和7年 6月13日	山王網一色地区社会福祉協議会会長	無職
10	山崎 時子	令和7年 6月13日	十字地区社会福祉協議会会長	無職
11	高木 将年	令和7年 6月13日	大窪地区社会福祉協議会会長	無職
12	相原 淳男	令和7年 6月13日	早川地区社会福祉協議会会長	無職
13	竹井 一弥	令和7年 6月13日	片浦地区社会福祉協議会会長	無職
14	府川 誠二	令和7年 6月13日	芦子地区社会福祉協議会会長	無職
15	添田 春生	令和7年 6月13日	二川地区社会福祉協議会会長	無職
16	大森 二郎	令和7年 6月13日	久野地区社会福祉協議会会長	無職
17	磯崎 伸子	令和7年 6月13日	東富水地区社会福祉協議会会長	無職
18	吉澤 博美	令和7年 6月13日	富水地区社会福祉協議会会長	無職
19	秋山 榮太郎	令和7年 6月13日	下府中地区社会福祉協議会会長	無職
20	栢 沼行雄	令和7年 6月13日	豊川地区社会福祉協議会会長	無職
21	星野 武夫	令和7年 6月13日	下曾我地区社会福祉協議会会長	無職
22	柿澤 広明	令和7年 6月13日	曾我地区社会福祉協議会会長	自営業
23	高橋 正則	令和7年 6月13日	国府津地区社協会長	会社員
24	譲原 八恵子	令和7年 6月13日	酒匂地区社会福祉協議会会長	無職
25	川又 寛	令和7年 6月13日	富士見地区社会福祉協議会会長	無職
26	石塚 美彦	令和7年 6月13日	前羽地区社会福祉協議会会長	無職
27	諏訪部 一美	令和7年 6月13日	下中地区社会福祉協議会会長	無職
28	本多 茂	令和7年 6月13日	小田原市子ども会連絡協議会副会長	無職
29	古木 映里	令和7年 6月13日	小田原市障害者地域事業所連絡会会長	法人役員
30	石橋 直美	令和7年 6月13日	小田原市母子寡婦福祉会副会長	会社員
31	榮 誠司	令和7年 6月13日	小田原市保育会副会長	法人役員
32	加藤 馨	令和7年 6月13日	社会福祉法人長寿会理事長	法人役員
33	山本 博文	令和7年 6月13日	小田原箱根商工会議所専務理事	法人役員
34	岩田 祥和	令和7年 6月13日	小田原市市民部副部長	公務員
35	川口 愛子	令和7年 6月13日	小田原録音奉仕会会長	無職
36	袴田はる江	令和7年 6月13日	下中地区ボランティアクラブ会長	無職

■選任年月日：評議員選任の評議員選任・解任委員会決議年月日

■任期：令和11年6月定時評議員会終結のときまで

■評議員全員の報酬等の支払総額：報酬なし

■年度中に退任した評議員：3名

No.	氏 名	退任年月日	備考
1	田 邊 淳 子	令和 7 年 11 月 30 日	小田原市民生委員児童委員協議会副会長
2	石塚ミドリ	令和 7 年 11 月 30 日	小田原市民生委員児童委員協議会常任理事
3	曾 我 和 夫	令和 8 年 3 月 15 日	足柄地区社会福祉協議会会長

(2) 理事の状況（令和 7 年度末現在）

No.	氏 名	役職	常勤・非常勤の別	選任年月日	他法人・団体の役員との兼職状況	職業
1	木村秀昭	会長	非常勤	令和 7 年 6 月 13 日	無	無職
2	関野次男	副会長	〃	令和 7 年 6 月 13 日	小田原市自治会総連合会長	無職
3	本田耕士	副会長	〃	令和 7 年 12 月 18 日	小田原市民生委員児童委員協議会会長	無職
4	下田成一	副会長	〃	令和 7 年 6 月 13 日	地区社協連絡協議会会長	無職
5	藤澤隆則	常務理事	常 勤	令和 7 年 6 月 13 日	(福)ゆりかご園評議員	法人役員
6	宮内宏人	理事	非常勤	令和 7 年 6 月 13 日	小田原市自治会総連合副会長	無職
7	田邊淳子	理事	〃	令和 7 年 12 月 18 日	小田原市民生委員児童委員協議会副会長	無職
8	白木 章	理事	〃	令和 7 年 6 月 13 日	地区社協連絡協議会副会長	無職
9	宮崎彰典	理事	〃	令和 7 年 6 月 13 日	小田原地区保護司会長	法人職員
10	平井良一	理事	〃	令和 7 年 6 月 13 日	小田原市老人クラブ連合会会長	無職
11	都築顕道	理事	〃	令和 7 年 6 月 13 日	小田原市保育会会長	法人役員
12	吉川伸治	理事	〃	令和 7 年 6 月 13 日	元神奈川県副知事	無職
13	川久保 孝	理事	〃	令和 7 年 6 月 13 日	無	無職
14	岩瀬忠司	理事	〃	令和 7 年 6 月 13 日	小田原箱根商工会議所監事	法人役員
15	大井友海	理事	〃	令和 7 年 6 月 13 日	小田原市福祉健康部副部長	公務員
16	市川雅子	理事	〃	令和 7 年 6 月 13 日	民族楽器ハッピーズ会長	無職

■選任年月日：理事選任の評議員会決議年月日

■任期：令和 9 年 6 月定時評議員会終結のときまで

■理事全員の報酬等の支払総額：会長、常務理事の報酬等の支払総額 6,438,658 円（その他の理事は報酬なし）

※限度額は令和 7 年 3 月 19 日の評議員会で 6,460,000 円以下と決議されている。

■年度中に退任した理事：2 名

No.	氏 名	常勤・非常勤の別	退任年月日	備考
1	岡田 健	非常勤	令和 7 年 11 月 30 日	
2	瀬戸昌子	〃	令和 7 年 11 月 30 日	

(3) 監事の状況（令和 7 年度末現在）

No.	氏 名	選任年月日	他法人・団体の役員との兼職状況	職業
1	田村佳江	令和 7 年 6 月 13 日	無	税理士
2	露木康男	令和 7 年 6 月 13 日	社会福祉法人風祭の森理事	公務員

- 選任年月日：監事選任の評議員会決議年月日
- 任期：令和9年6月定時評議員会終結のときまで
- 監事全員の報酬等の支払総額：報酬なし
- 年度中に退任した監事：なし

(4) 評議員選任・解任委員会委員の状況（令和7年度末現在）

No.	氏 名	選任年月日	職 業	備 考
1	湯 川 増 夫	令和7年6月13日	無職	
2	市川昭維子	令和7年6月13日	無職	
3	林 良 英	令和7年6月13日	無職	
4	露 木 康 男	令和7年6月13日	公務員	監事
5	遠 藤 貴 文	令和7年6月13日	職員	事務局長

- 選任年月日：委員選任の理事会決議年月日
- 任期：令和9年6月定時評議員会終結のときまで
- 年度中に退任した委員：山口真一（令和7年5月26日退任）

(5) 職員の状況（令和7年度末現在）

拠点区分	常勤職員数	非常勤職員数	計	備 考
一般事業	26 名	6 名	32 名	
介護サービスセンター事業	6 名	2 名	8 名	
合計	32 名	8 名	40 名	

(6) 行政官庁認可等事項

認可年月日	行政官庁名	件 名	備 考
令和7年6月25日	横浜地方法務局湘南支局	資産変更登記	
令和7年6月25日	横浜地方法務局湘南支局	代表理事重任登記	

(7) 法人所轄庁からの報告徴収・検査への対応状況 なし

(8) 地域における公益的な取組の実施状況

	取組の分類 ※WAMNET現況報告書『取組類型コード分類』	取組内容
1	地域の要支援者に対する相談支援	福祉まるごと相談事業、地域福祉相談支援事業
2	地域の要支援者に対する配食、見守り、移動等の生活支援	地区社協等による見守り活動支援
3	地域の要支援者に対する権利擁護支援	日常生活自立支援事業、法人後見事業、おだわら成年後見支援センターTOMONI（ともに）の運営
4	地域の要支援者に対する資金や物資の貸付・提供	生活困窮者支援事業、法外援護事業、車イスの貸出し

	取組の分類 ※WAMNET現況報告書『取組類型コード分類』	取組内容
5	既存事業の利用料の減額・免除	介護サービスセンター事業利用者に対する減免
6	地域福祉ニーズ等を把握するためのサロン活動	サロン活動の推進
7	地域住民に対する福祉教育	福祉ボランティアスクール、福祉体験学習・出前講座、ソーシャルワーク実習生の受入れ
8	地域の関係者とのネットワークづくり	地区社協活動支援、子どもの居場所づくり連絡会、災害ボランティアセンターに関する打合せ
9	地域における公益的な取組（その他）	社協おだわらの発行、ホームページ・Instagram等 SNS による福祉情報の提供

(9) 顧問弁護士、顧問社会保険労務士及び協力医への相談状況

1	顧問弁護士 中野法律事務所 中野智一郎 弁護士	事業の遂行に関して生じる法律上の問題または紛争への対応、また本協議会が実施する生活上の相談事業等に係る法律に関する相談 ・権利擁護、福祉まると相談、介護サービスセンター等
2	顧問社会保険労務士 中川貴恵社会保険労務士事務所 中川貴恵 特定社会保険労務士	複雑で多岐にわたる労務関係の専門知識や、関係規程等へ適確に反映・整備していくための対応や助言 ・規程改正及び労務関係等
3	協力医 緑陰診療所 橋口玲子 医師	職場における職員の安全と健康を確保し、さらに快適な職場環境の形成を促進するため、医学的な立場から助言・指導

